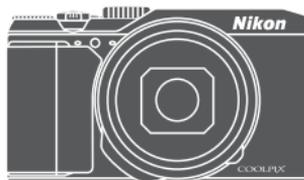


# Nikon

デジタルカメラ

# COOLPIX A900

## 活用ガイド



見たいページを探す

- 
- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
  - 「安全上のご注意」(viページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
  - お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

# 🏠 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🏠 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページに戻れます。

## 目次項目から探す

はじめに.....	iii
目次.....	x
各部の名称.....	1
撮影の準備.....	8
撮影と再生の基本操作.....	16
スマートフォンとの接続 (SnapBridge).....	23
いろいろな撮影.....	32
いろいろな再生.....	75
動画.....	87
テレビ、プリンター、パソコンとの接続.....	101
メニューを使う.....	111
資料.....	159

## 目的から探す



安全上のご注意



スマートフォン  
との接続



露出設定の  
ヒント



連写



画像の編集  
(静止画)



組み合わせて  
使えない機能



故障かな？  
と思ったら



索引

# はじめに

## はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX A900をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ます。

## 本書の記載について

- ページ右下のをタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(□ii)を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

## カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>



## ご確認ください

### ●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

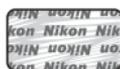
### ●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

### ●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- ・模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- ・他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラムシール

### ●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。  
<http://downloadcenter.nikonimglib.com>  
ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。
- ・印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます（有料）。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



## ●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

## ●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニューの【設定クリアー】（☐117）でカメラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメニュー（☐112）の【メモリーの初期化】または【カードの初期化】でメモリーを初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに十分ご注意ください。

## ●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

（VCCIマークは以下の操作で画面に表示されます。MENU ボタンを押す →  メニューアイコン → 認証マークの表示 →  ボタン）

VCCI-B



## 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



**危険** 「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。



**警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、してはいけない内容です。



は、実行しなければならない内容です。



### 警告



**禁止** 歩きながらや運転しながらの操作はしない  
事故やけがの原因になります。



**分解禁止** 分解、修理または改造をしない  
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない  
感電やけがの原因になります。



**実行** 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す  
放置すると、発火、やけどの原因になります。



**禁止** 水でぬらさない  
ぬれた手で触らない  
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電や発火の原因になります。



 **禁止** 電源を入れたまま長時間直接接触らない  
低温やけどの原因になります。

 **禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない  
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や発火の原因になります。

 **禁止** フラッシュを運転者に向けて発光しない  
事故の誘発につながります。

 **禁止** 幼児の手の届くところに置かない  
故障やけがの原因になります。  
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。  
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

 **禁止** ストラップ類を首に巻きつけない  
事故の原因になります。

 **禁止** 指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない  
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する

- コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。  
重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、無理に曲げたりしない
- 海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない  
発火、感電の原因になります。

 **禁止** 充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない  
感電の原因になります。

 **接触禁止** 高温環境や低温環境では、直接接触らない  
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

## **注意**

 **禁止** レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない  
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。  
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。





## 実行

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする  
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする

医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。



## 実行

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す  
故障や発火の原因になります。



## 接触 禁止

レンズなどの可動部には触らない  
けがの原因になります。



## 接触 禁止

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない  
やけどや発火の原因になります。



## 禁止

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない  
故障や発火の原因になります。



## 危険 (電池について)

電池は誤った使い方をしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



## 禁止

- 充電電池は、専用の充電電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート(短絡)しない
- 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしない



## 禁止

リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、EN-EL12の充電機能付きカメラ本体または専用の充電器以外で充電しない

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



## 実行

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける

放置すると、目に傷害を与える原因になります。





## 警告 (電池について)



### 禁止

電池を乳幼児の手の届く所に置かない  
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。



### 禁止

水につけたり、雨にぬらしたりしない  
発火や故障の原因になります。  
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。



### 禁止

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない  
所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する  
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



### 実行

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する  
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。  
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、自治体の規則に従って廃棄してください。



### 実行

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す  
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。



# 目次

見たいページを探す .....	ii
目次項目から探す .....	ii
目的から探す .....	ii
はじめに .....	iii
はじめにお読みください .....	iii
本書の記載について .....	iii
カスタマー登録のお願い .....	iii
ご確認ください .....	iv
安全上のご注意 .....	vi
各部の名称 .....	1
カメラ本体 .....	2
画像モニターの表示内容 .....	4
撮影画面の表示内容 .....	4
再生画面の表示内容 .....	6
撮影の準備 .....	8
ストラップの取り付け方 .....	9
電池とメモリーカードを入れる .....	10
電池やメモリーカードを取り出すには .....	10
メモリーカードと内蔵メモリーについて .....	10
電池を充電する .....	11
画像モニターの角度を変える .....	13
電源を ON にして、カメラをセットアップする .....	14
撮影と再生の基本操作 .....	16
画像を撮影する .....	17
フラッシュを使う .....	19
動画を撮影する .....	19
画像を再生する .....	20
画像を削除する .....	21
削除画像選択画面の操作方法 .....	22



<b>スマートフォンとの接続 (SnapBridge).....</b>	<b>23</b>
SnapBridge アプリをインストールする .....	24
カメラとスマートフォンを接続する .....	25
接続を一時停止/再開するには .....	28
画像送信とリモート撮影について .....	29
画像送信について .....	29
リモート撮影について .....	30
iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら .....	30
画像がうまく送信できないときは .....	31
<b>いろいろな撮影 .....</b>	<b>32</b>
撮影モードを選ぶ .....	33
📷 (オート撮影) モード .....	34
シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する) .....	35
シーンモードのヒントとご注意 .....	36
美肌機能について .....	42
かんたんパノラマの撮影方法 .....	43
かんたんパノラマの再生方法 .....	45
ベストフェイスの撮影方法 (顔をよりきれいに撮影する) .....	46
クリエイティブモード (効果を付けて撮影する) .....	50
P、S、A、Mモード (露出を設定して撮影する) .....	52
露出設定のヒント .....	53
シャッタースピードの制御範囲 (P、S、A、Mモード時) .....	55
マルチセレクターで設定する撮影機能 .....	56
フラッシュモード .....	57
セルフタイマー .....	60
マクロモード (接写する) .....	61
クリエイティブスライダーを使う .....	62
露出補正 (明るさを調節する) .....	64
ズームを使う .....	65
ピント合わせについて .....	67
シャッターボタンの半押しと全押し .....	67
ターゲットファインドAFについて .....	67
顔認識撮影について .....	68
オートフォーカスが苦手な被写体 .....	69
フォーカスロック撮影 .....	70
フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧 .....	71
撮影時に組み合わせて使えない機能 .....	73



いろいろな再生 .....	75
拡大表示 .....	76
サムネイル表示 / カレンダー表示 .....	77
撮影日一覧モード .....	78
グループ画像の再生と削除 .....	79
グループ画像の再生方法 .....	79
グループ画像を削除する .....	80
画像の編集（静止画） .....	81
クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える） .....	81
簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める） .....	82
D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する） .....	82
赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する） .....	83
メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる） .....	83
スモールピクチャー（画像サイズを小さくする） .....	85
トリミング（画像の一部を切り抜く） .....	86
<b>動画 .....</b>	<b>87</b>
動画の基本的な撮影と再生 .....	88
動画撮影中に静止画を記録する .....	91
タイムラプス動画を撮影する .....	92
スーパーラプス動画を撮影する .....	94
ショートムービーショーモード（つなげて作る短編動画） .....	95
動画再生中の操作 .....	98
動画の編集 .....	99
動画の必要な部分だけを切り出す .....	99
動画の1フレームを静止画として保存する .....	100
<b>テレビ、プリンター、パソコンとの接続 .....</b>	<b>101</b>
画像の活用方法 .....	102
テレビで鑑賞する .....	103
パソコンを使わずにプリントする .....	104
カメラとプリンターを接続する .....	104
1コマずつプリントする .....	105
複数の画像をプリントする .....	106
パソコンに画像を取り込む（ViewNX-i） .....	108
ViewNX-iをインストールする .....	108
パソコンに画像を取り込む .....	108



<b>メニューを使う</b> .....	<b>111</b>
メニューの操作方法 .....	112
画像選択画面の操作方法 .....	114
メニュー項目一覧 .....	115
撮影メニュー .....	115
動画メニュー .....	115
再生メニュー .....	116
通信メニュー .....	116
セットアップメニュー .....	117
<b>撮影メニュー（撮影モード共通）</b> .....	<b>118</b>
画質 .....	118
画像サイズ .....	119
<b>撮影メニュー（P、S、A、Mモード）</b> .....	<b>120</b>
ホワイトバランス（色合いの調整） .....	120
測光方式 .....	122
連写 .....	123
ISO感度設定 .....	125
AFエリア選択 .....	126
AFモード .....	129
Mモード露出反映表示 .....	129
<b>動画メニュー</b> .....	<b>130</b>
動画設定 .....	130
AFエリア選択 .....	134
AFモード .....	135
動画手ブレ補正 .....	136
風切り音低減 .....	137
フレームレート設定 .....	137
<b>再生メニュー</b> .....	<b>138</b>
送信画像の指定 .....	138
スライドショー .....	139
プロテクト設定 .....	140
画像回転 .....	140
画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー） .....	141
グループ表示設定 .....	142
<b>通信メニュー</b> .....	<b>143</b>
文字入力画面の操作方法 .....	144
<b>セットアップメニュー</b> .....	<b>145</b>
地域と日時 .....	145
モニター設定 .....	147
日付写し込み .....	149
静止画手ブレ補正 .....	150
AF補助光 .....	151



電子ズーム .....	151
操作音 .....	152
オートパワーオフ .....	152
カード/メモリーの初期化 (フォーマット) .....	153
言語 /Language .....	153
画像コメント .....	154
著作権情報 .....	155
位置情報 .....	156
パソコン接続充電 .....	157
設定クリアー .....	158
認証マークの表示 .....	158
バージョン情報 .....	158

<b>資料 .....</b>	<b>159</b>
無線通信機能についてのご注意 .....	160
取り扱い上のご注意 .....	162
カメラについて .....	162
電池について .....	163
本体充電ACアダプターについて .....	164
メモリーカードについて .....	165
お手入れ方法 .....	166
クリーニングについて .....	166
保管について .....	166
警告メッセージ .....	167
故障かな?と思ったら .....	170
記録データのファイル名 .....	179
別売アクセサリ .....	180
主な仕様 .....	181
使用できるメモリーカード .....	184
商標説明 .....	185
索引 .....	187
修理サービスのご案内 .....	191
ニコンプラザについて .....	192

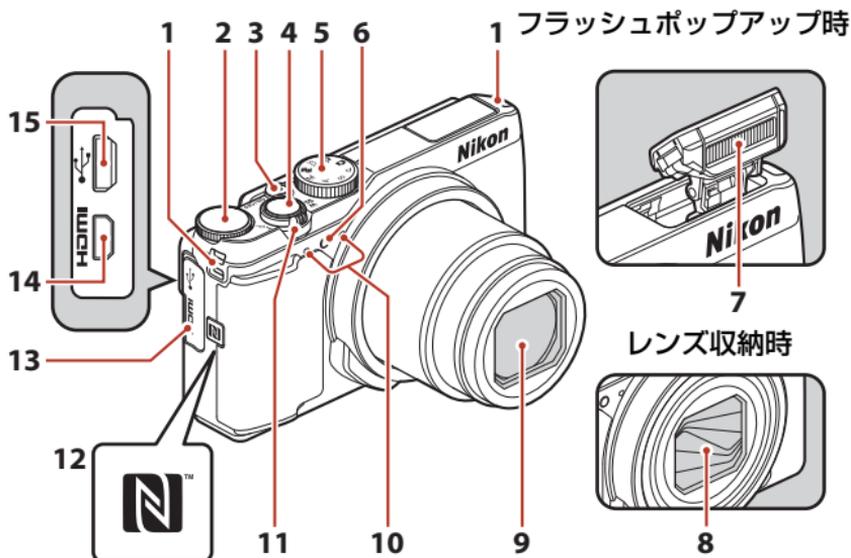


# 各部の名称

カメラ本体.....	2
画像モニターの表示内容.....	4

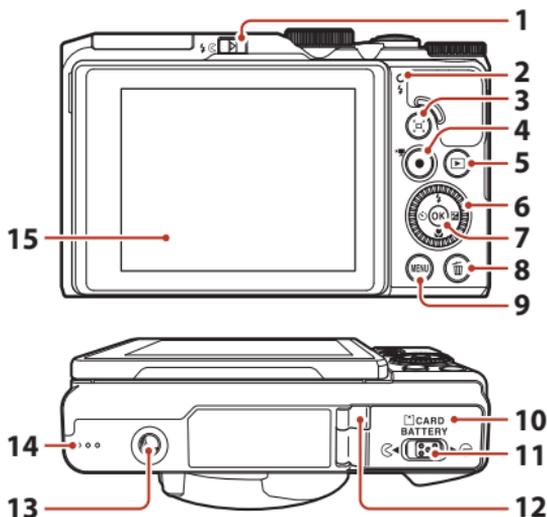


# カメラ本体



<b>1</b>	ストラップ取り付け部.....	9	ズームレバー.....	18、65	
<b>2</b>	コマンドダイヤル.....	52	<b>W</b> ：広角ズーム.....	18、65	
<b>3</b>	電源スイッチ/電源ランプ....	14	<b>T</b> ：望遠ズーム.....	18、65	
<b>4</b>	シャッターボタン.....	18、67	：サムネイル表示.....	77	
<b>5</b>	撮影モードダイヤル.....	17、33	<b>Q</b> ：拡大.....	76	
<b>6</b>	セルフタイマーランプ.....	60	<b>12</b>	Nマーク (NFCアンテナ部) ...	25
	AF補助光.....	117、151	<b>13</b>	端子カバー.....	11、102
<b>7</b>	フラッシュ.....	19、56、57	<b>14</b>	HDMIマイクロ端子 (Type D)	102
<b>8</b>	レンズバリアー		<b>15</b>	Micro-USB端子.....	11、102
<b>9</b>	レンズ				
<b>10</b>	マイク (ステレオ).....	88			





<p><b>1</b>  (フラッシュポップアップ) レバー</p> <p><b>2</b> 充電ランプ ..... 11 フラッシュランプ ..... 57</p> <p><b>3</b>  (クイックバックズーム) ボタン ..... 66</p> <p><b>4</b> ● (  動画撮影 ) ボタン ..... 19、88</p> <p><b>5</b>  (再生) ボタン ..... 20</p> <p><b>6</b> ロータリーマルチセレクター (マルチセレクター) ※ ..... 52、56、112</p> <p><b>7</b>  (決定) ボタン ..... 112</p>	<p><b>8</b>  (削除) ボタン ..... 21</p> <p><b>9</b> MENU (メニュー) ボタン ..... 112</p> <p><b>10</b> 電池/メモリーカードカバー ..... 10</p> <p><b>11</b> ロックレバー ..... 10</p> <p><b>12</b> パワーコネクターカバー (別売ACアダプター用)</p> <p><b>13</b> 三脚ネジ穴</p> <p><b>14</b> スピーカー</p> <p><b>15</b> 画像モニター ..... 4、13</p>
--	--

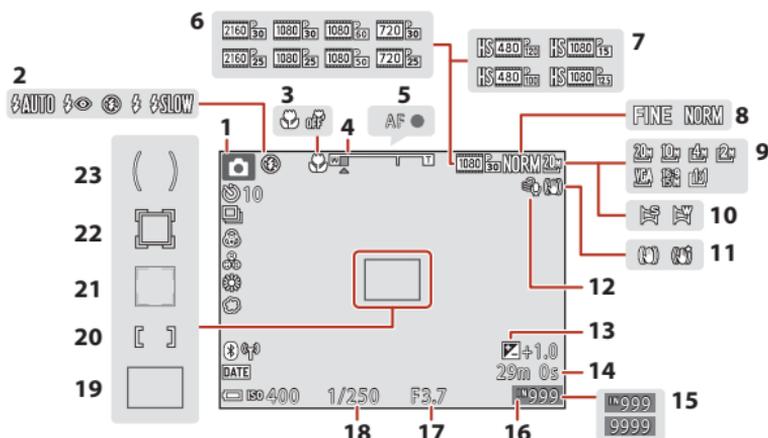
※ 本書では「マルチセレクター」と表記することがあります。



# 画像モニターの表示内容

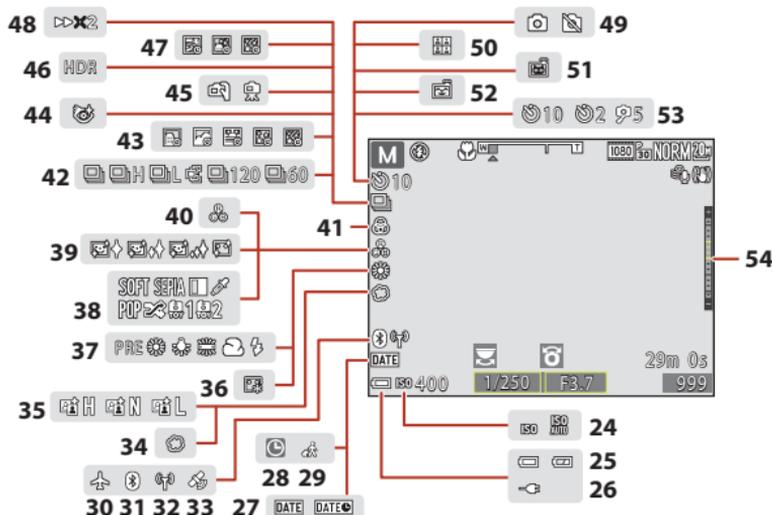
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（□147）→[モニター表示設定]→[情報オート]時）。

## 撮影画面の表示内容



<b>1</b>	撮影モード	33	<b>14</b>	記録可能時間（動画）	88、89
<b>2</b>	フラッシュモード	56、57	<b>15</b>	記録可能コマ数（静止画）	17、118
<b>3</b>	マクロモード	56、61	<b>16</b>	内蔵メモリー表示	17
<b>4</b>	ズーム表示	18、65	<b>17</b>	絞り値	52
<b>5</b>	AF表示	18	<b>18</b>	シャッタースピード	52
<b>6</b>	動画設定（通常速度の動画）	115、130	<b>19</b>	AFエリア（ターゲットファインドAF）	67、115、126
<b>7</b>	動画設定（HS動画）	115、131	<b>20</b>	AFエリア（マニュアル、中央）	115、126
<b>8</b>	画質	115、118	<b>21</b>	AFエリア（顔認識、ペット検出）	115、126
<b>9</b>	画像サイズ	115、119	<b>22</b>	AFエリア（ターゲット追尾）	115、126
<b>10</b>	かんたんパノラマ	35、43	<b>23</b>	中央部重点測光範囲	115、122
<b>11</b>	手ブレ補正表示	115、117、136、150			
<b>12</b>	風切り音低減	115、137			
<b>13</b>	露出補正值	62、64			





<b>24</b> ISO感度表示 .....	115、125	<b>39</b> 美肌 .....	46
<b>25</b> 電池残量表示 .....	17	<b>40</b> 色合い .....	46、62
<b>26</b> 本体充電ACアダプター接続中 表示		<b>41</b> 鮮やかさ .....	46、62
<b>27</b> 日付写し込み .....	117、149	<b>42</b> 連写モード .....	40、115、123
<b>28</b> 日時未設定 .....	145、171	<b>43</b> タイムラプス動画 .....	35、92
<b>29</b> 訪問先 .....	145	<b>44</b> 目つぶり軽減 .....	48
<b>30</b> 機内モード .....	143	<b>45</b> 手持ち撮影/三脚撮影 .....	37
<b>31</b> Bluetooth通信表示 .....	143	<b>46</b> 逆光 (HDR) .....	39
<b>32</b> Wi-Fi通信表示 .....	143	<b>47</b> 比較明合成 .....	41
<b>33</b> 位置情報 .....	156	<b>48</b> 再生倍速	
<b>34</b> ソフト .....	46	<b>49</b> 動画撮影中の静止画記録 .....	91
<b>35</b> アクティブD-ライティング .....	62	<b>50</b> セルフコラージュ .....	47
<b>36</b> ファンデーション .....	46	<b>51</b> ペット自動シャッター .....	40、56、60
<b>37</b> ホワイトバランス ...	115、120	<b>52</b> 笑顔自動シャッター .....	49、56
<b>38</b> スペシャルエフェクト .....	96	<b>53</b> セルフタイマー .....	56、60
		<b>54</b> 露出インジケータ .....	54

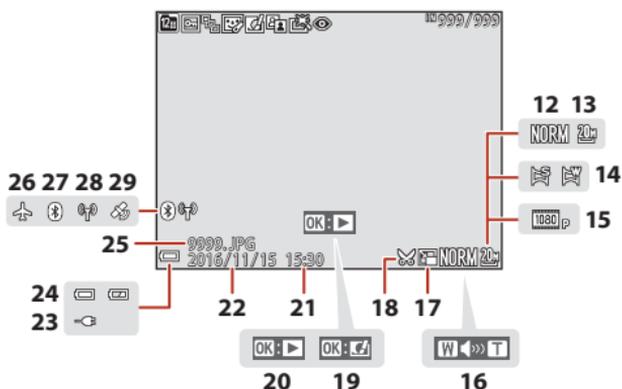


## 再生画面の表示内容



- |          |                          |         |           |                  |        |
|----------|--------------------------|---------|-----------|------------------|--------|
| <b>1</b> | 撮影日一覧表示 .....            | 78      | <b>7</b>  | 簡単レタッチ済み表示 ..... | 82、116 |
| <b>2</b> | プロテクト表示 .....            | 116、140 | <b>8</b>  | 赤目補正 .....       | 83、116 |
| <b>3</b> | グループ画像（[1枚ずつ] 設定時） ..... | 116、142 | <b>9</b>  | 内蔵メモリー表示 .....   | 17     |
| <b>4</b> | メイクアップ効果済み表示 .....       | 83、116  | <b>10</b> | 画像の番号/全画像数       |        |
| <b>5</b> | クイックエフェクト済み表示 .....      | 81、116  | <b>11</b> | 動画の再生時間          |        |
| <b>6</b> | D-ライティング済み表示 .....       | 82、116  |           |                  |        |





<b>12</b> 画質 .....	115、118	<b>21</b> 撮影時刻	
<b>13</b> 画像サイズ .....	115、119	<b>22</b> 撮影日	
<b>14</b> かんたんパノラマ .....	35、43	<b>23</b> 本体充電ACアダプター接続中 表示	
<b>15</b> 動画設定 .....	115、130	<b>24</b> 電池残量表示 .....	17
<b>16</b> 音量表示 .....	98	<b>25</b> ファイル名 .....	179
<b>17</b> スモールピクチャー ...	85、116	<b>26</b> 機内モード .....	143
<b>18</b> トリミング済み表示 .....	76、86	<b>27</b> Bluetooth通信表示 .....	143
<b>19</b> クイックエフェクト設定ガイド		<b>28</b> Wi-Fi通信表示 .....	143
<b>20</b> かんたんパノラマ再生ガイド グループ画像再生ガイド 動画再生ガイド		<b>29</b> 位置情報記録済み表示 .....	156

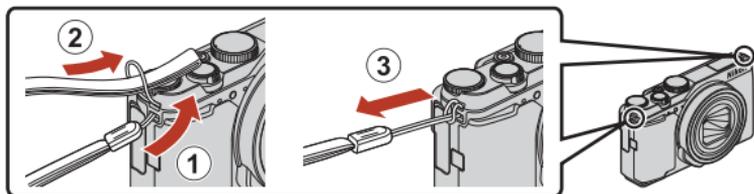


# 撮影の準備

ストラップの取り付け方.....	9
電池とメモリーカードを入れる.....	10
電池を充電する.....	11
画像モニターの角度を変える.....	13
電源を ON にして、カメラをセットアップする.....	14



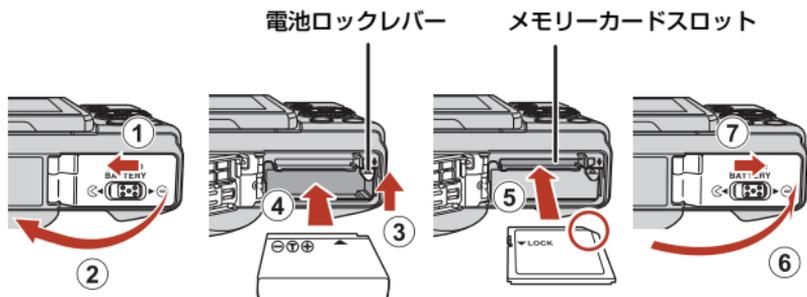
## ストラップの取り付け方



- ストラップは、左右どちらのストラップ取り付け部にも取り付けられます。



## 電池とメモリーカードを入れる



- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら (③)、奥まで差し込みます (④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。

### ☑ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。

- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENU ボタンを押し、セットアップメニュー (□112) の [カードの初期化] を選びます。

## 電池やメモリーカードを取り出すには

電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

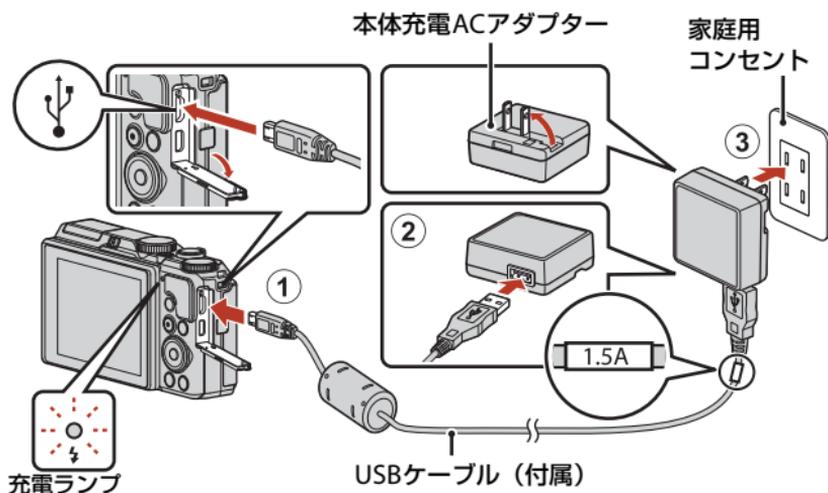
- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

## メモリーカードと内蔵メモリーについて

撮影したデータは、メモリーカードまたはカメラの内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。



# 電池を充電する



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は充電ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、充電ランプが消灯します。コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外してください。充電時間は、残量がない電池の場合、約2時間20分です。
- 充電ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
  - 充電可能な温度ではない。
  - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
  - 電池に異常がある。



### USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

### 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。操作中は充電ランプは消灯します。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。



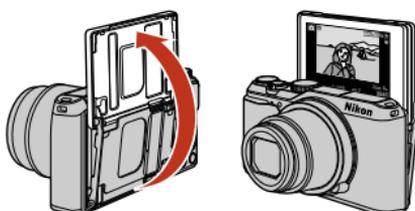
# 画像モニターの角度を変える

画像モニターは、向きや角度を調節できます。

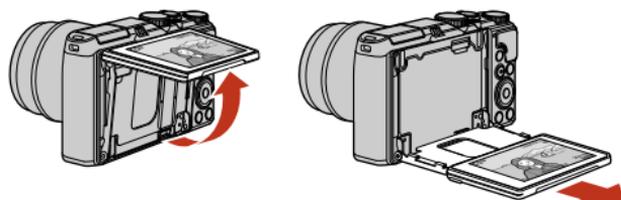
## 通常の撮影時



## 自分撮り時



## ローアングル撮影時

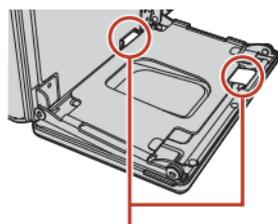


## ハイアングル撮影時



## ✓ 画像モニターについてのご注意

- 画像モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。
- 画像モニターの内側には触れないでください。故障の原因となります。



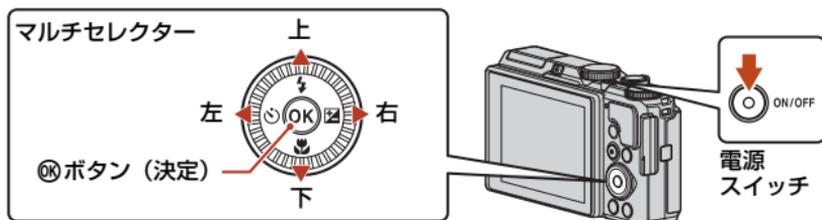
特にこの部分には触れないでください。



# 電源をONにして、カメラをセットアップする

## 1 カメラの電源をONにする

- 設定項目の変更や決定にはマルチセレクターを使います。



- 言語選択の画面が表示されます。マルチセレクターの▲ ▼で言語を選び、OK ボタンを押して決定します。
- 言語はYセットアップメニュー (□□117) の [言語/Language] で変更できます。
- 電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッチを押してください。



## 2 右の画面が表示されたら、以下に従ってMENUボタンまたはOKボタンを押す

- スマートフォンと無線接続しない場合：MENU ボタンを押して、手順3に進みます。
- スマートフォンと無線接続する場合：OK ボタンを押します。セットアップ手順は、「スマートフォンとの接続 (SnapBridge)」 (□□23) をご覧ください。



## 3 [地域と日時を設定しますか?] と表示されたら、▲▼で [はい] を選び、OK ボタンを押す



#### 4 自宅のある地域（現在地）を選び、**OK** ボタンを押す

- ▲を押すと夏時間を設定できます。設定オンで時計が1時間早くなり、地図上部に☀が表示されます。取り消すには▼を押します。



#### 5 日付の表示順を▲▼で選び、**OK** ボタンを押す

#### 6 日付と時刻を設定して、**OK** ボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分] を選んで**OK** ボタンを押し、設定を確認します。



#### 7 確認画面が表示されたら [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- セットアップが完了すると、撮影画面になります。
- 地域と日時は、セットアップメニュー (☰145) → [地域と日時] で変更できます。



# 撮影と再生の基本操作

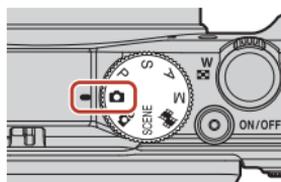
画像を撮影する .....	17
画像を再生する .....	20
画像を削除する .....	21



# 画像を撮影する

📷 (オート撮影) モードを例に説明します。📷 (オート撮影) モードでは、さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

## 1 撮影モードダイヤルを回して、📷 に合わせる



記録可能コマ数

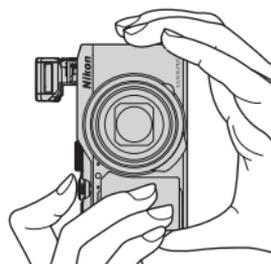
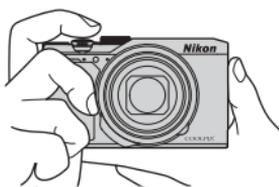
- 電池残量表示  
🔋 : 電池残量はあります。  
🔋 : 電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数  
メモリーカードをカメラに入れていないときは、📄が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。



電池残量表示

## 2 カメラを構える

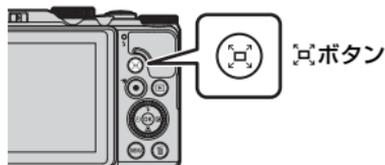
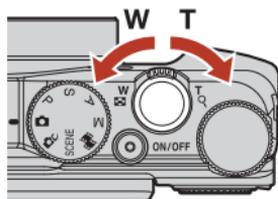
- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。



### 3 構図を決める

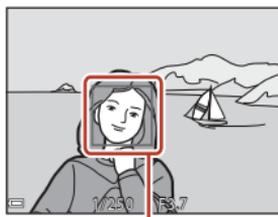
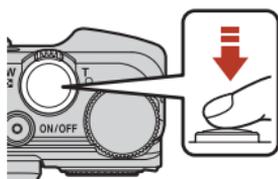
- ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします。
- 望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム) ボタンを押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。

広い範囲を写す 大きく写す



### 4 シャッターボタンを半押しする

- 半押しとは、シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることをいいます。
- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 画像モニターが自分撮り時 (13) は、AFエリアは表示されません。
- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



AFエリア

### 5 シャッターボタンを半押ししたまま、全押しして撮影する



## ✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

## 🔪 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

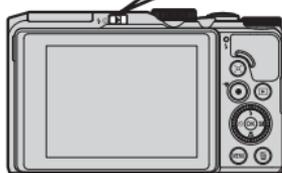
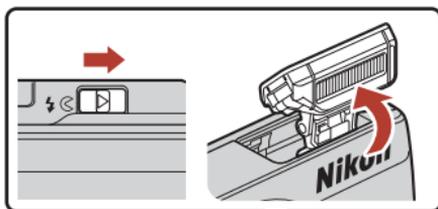
## 🔪 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所でフラッシュがⓂ（発光禁止）のとき
  - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー（☰112）の「静止画手ブレ補正」を「しない」にしてください。

## フラッシュを使う

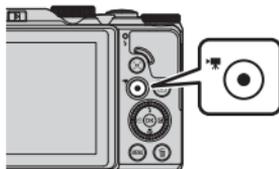
暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、（フラッシュポップアップ）レバーを動かし、フラッシュをポップアップさせます。

- フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。



## 動画を撮影する

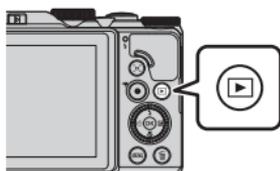
撮影画面を表示し、●（動画撮影）ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度●（）ボタンを押します。



# 画像を再生する

## 1 ▶ (再生) ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態では▶ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



## 2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- 撮影した動画を再生するには、OKボタンを押します。
- 撮影に戻るには、▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 1コマ表示でOK: [E]が表示されたときは、OKボタンを押すと画像に効果を付けられます。

前の画像を表示

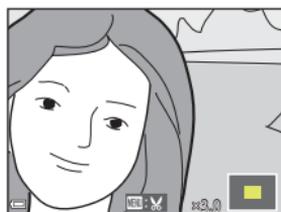


次の画像を表示

- 1コマ表示でズームレバーをT(Q)側に動かすと、拡大表示されます。

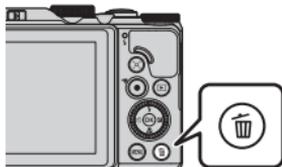


- 1コマ表示でズームレバーをW(E)側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



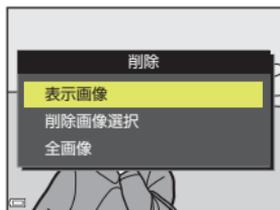
# 画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して  (削除) ボタンを押す



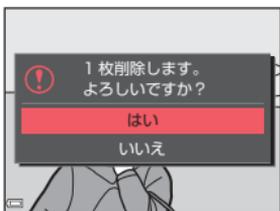
- 2 マルチセレクターの ▲▼ で削除方法を選び、 ボタンを押す

- 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。
- コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回しても削除方法を選べます。



- 3 [はい] を選び、 ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



## グループ画像の削除について

- 連写した画像や比較明合成、セルフコラージュ、クリエイティブモードで撮影した画像は「グループ画像」として保存され、再生すると1コマ（代表画像）のみを表示します。
- 代表画像の表示中に  ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてが削除されます。
- グループ内の画像を個別に削除するときは、 ボタンを押して1コマずつに展開表示してから  ボタンを押します。



## 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで  ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。



## 削除画像選択画面の操作方法

### 1 マルチセクターの◀▶または回転で、削除したい画像を選ぶ

- ズームレバー (□□2) をT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



### 2 ▲▼でON/OFFを設定する

- ON にすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



### 3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されます。表示内容に従って操作してください。



# スマートフォンとの接続 (SnapBridge)

SnapBridge アプリをインストールする.....	24
カメラとスマートフォンを接続する .....	25
画像送信とリモート撮影について .....	29



# SnapBridgeアプリをインストールする

SnapBridgeアプリをインストールして、SnapBridge対応カメラとスマートフォンを無線接続すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに取り込んだり、スマートフォンを使ってカメラのシャッターをきったりすることができます (□29)。



- SnapBridgeアプリバージョン2.0を使って説明しています。SnapBridgeアプリは最新のバージョンをお使いください。カメラのファームウェアやSnapBridgeアプリのバージョン、またはスマートフォンのOSにより操作方法などが異なる場合があります。
- スマートフォンの使い方については、スマートフォンの説明書をご覧ください。

## 1 SnapBridgeアプリをスマートフォンにインストールする

- iOSはApple App Store®で、Android™はGoogle Play™でダウンロードします。「snapbridge」で検索し、インストールしてください。



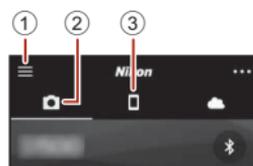
- 対応OSのバージョンについては、各ダウンロードサイトでご確認ください。
- このカメラでは「SnapBridge 360/170アプリ」は使えません。

## 2 スマートフォンのBluetoothとWi-Fiの設定を有効にする

- カメラとの接続は SnapBridge アプリを使って行います。スマートフォンのBluetooth設定画面からは接続できません。

### SnapBridgeアプリの画面について

- ① ニコンからのお知らせやSnapBridgeアプリのヘルプを見たり、アプリの設定ができます。
- ② 主にスマートフォンとカメラの接続設定を行います。
- ③ カメラから取り込んだ画像を見たり、画像の削除や共有を行ったりできます。



# カメラとスマートフォンを接続する

- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。

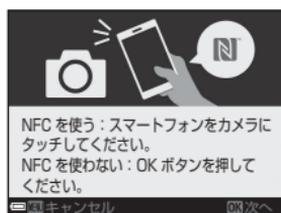
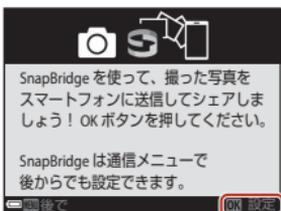
## 1 カメラ：[通信メニュー] (☰112) → [スマートフォンと接続] を選び、**OK** ボタンを押す

- 初回電源ON時は、手順2の画面が表示されます。その場合、この手順は不要です。



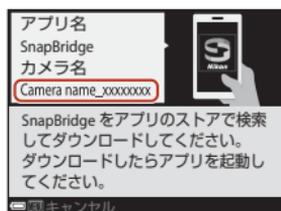
## 2 カメラ：右の画面が表示されたら **OK** ボタンを押す

- NFC機能を使用するかどうかを確認する画面が表示されます。NFC機能を使用する場合は、カメラの **N** (Nマーク) にスマートフォンのNFCアンテナ部をタッチしてください。スマートフォンに「ペアリングを開始しますか?」と表示されたら、**[OK]** をタップして手順6にお進みください。NFC機能を使用しない場合は **OK** ボタンを押してください。



## 3 カメラ：右の画面が表示されていることを確認する

- スマートフォンを用意して次の手順に進んでください。



## 4 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、 [カメラとペアリング] をタップする

- カメラを選択する画面が表示された場合は、接続するカメラを選んでタップしてください。
- SnapBridge アプリを初めて起動したときに、カメラと接続せずに画面右上の **[Skip]** をタップした場合は、**[カメラとペアリング]** をタップして手順5にお進みください。



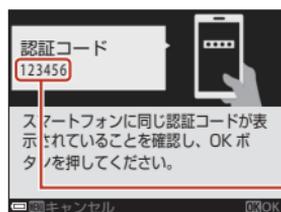
## 5 スマートフォン：[カメラとペアリング] 画面で カメラ名をタップする

- iOSの場合、接続するときに手順説明の画面が表示されたら、内容を確認して **[確認しました]** をタップします（表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてください）。アクセサリを選択する画面が表示されたら、再度カメラ名をタップします（カメラ名の表示に時間がかかることがあります）。



## 6 カメラ/スマートフォン： カメラとスマートフォンに同じ番号（6桁）が 表示されていることを確認する

- iOSの場合、OSのバージョンによっては、スマートフォンに番号が表示されないことがあります。その場合は手順7へお進みください。



## 7 カメラ/スマートフォン：カメラの**OK** ボタンとSnapBridgeアプリの **[ペア設定する]** を押す



## 8 カメラ/スマートフォン：接続設定を完了する

カメラ：右の画面が表示されたら、**OK** ボタンを押してください。

スマートフォン：ペアリング完了の画面が表示されたら、**[OK]** をタップしてください。



## 9 カメラ：画面の指示に従ってセットアップを完了する

- **[位置情報をスマートフォンから取得しますか?]** で **[[はい]** を選ぶと、撮影画像に位置情報を記録できます。スマートフォン本体の位置情報機能を有効にし、SnapBridgeアプリの **📍** タブ → **[自動連携設定]** → **[位置情報を同期]** を有効にしてください。
- **[日時をスマートフォンと同期させますか?]** で **[[はい]** を選ぶと、カメラの内蔵時計の設定をスマートフォンの日時と同期させることができます。SnapBridgeアプリの **📍** タブ → **[自動連携設定]** → **[時刻情報を同期]** を有効にしてください。

カメラとスマートフォンの接続が完了しました。

カメラで撮影した静止画がスマートフォンに自動送信されます。

### SnapBridgeアプリについてもっと知りたいときは

SnapBridgeアプリの詳しい使い方は、オンラインヘルプをご覧ください（接続後は、SnapBridgeアプリのメニュー → **[ヘルプ]** で参照できます）。

<https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html>



## 📎 接続がうまくいかないときは

- 接続時、カメラの画面に「**接続できませんでした。**」と表示されたときは
  - もう一度接続を行う場合は、**OK** ボタンを押して「カメラとスマートフォンを接続する」の手順2 (📄25) からやり直してください。
  - 接続をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押してください。
- アプリを再起動することで、問題が解決する場合があります。SnapBridgeアプリを完全に終了し、再度アプリのアイコンをタップして起動してください。アプリが起動したら「カメラとスマートフォンを接続する」の手順1 (📄25) からやり直してください。
- iOSで接続できずにエラーが発生すると、iOS上にカメラがデバイス登録されていることがあります。その場合は、iOSの設定アプリを起動してデバイス（カメラ名）の登録を解除してください。



## 接続を一時停止/再開するには

以下のいずれかの方法で、接続を一時的に停止/再開できます。

- カメラの [通信メニュー] → [機内モード] の設定を切り換える。  
無線通信が禁止されている場所では、[する] に設定するとすべての通信機能をOFFにできます。
- カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [通信機能] の設定を切り換える。
- SnapBridgeアプリの 📷 タブ → [自動連携設定] → [自動連携] の設定を切り換える。  
OFFにすると、スマートフォンのバッテリー消費を抑えることができます。



# 画像送信とリモート撮影について

## 画像送信について

画像送信には次の3つの方法があります。

- 内蔵メモリーの画像は送信できません。

撮影するたびに画像をスマートフォンへ自動送信する※1、2	カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画] を [する] に設定します。 動画は自動送信できません。
スマートフォンに取り込みたい画像をカメラで指定して送信する※1、2	カメラの [再生メニュー] → [送信画像の指定] で画像を選びます。 動画は送信指定できません。
スマートフォンでカメラ内の画像を選んで取り込む	SnapBridgeアプリの  タブ → [画像取り込み] をタップします。 Wi-Fi接続に関するダイアログが表示されます。[OK] をタップし※3、画像を選択します。

※1 画像は2Mサイズで送信されます。

※2 カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [電源オフ中の通信] を [する] にすると、カメラの電源がOFFのときでもスマートフォンに画像が自動送信されます。

※3 iOSのバージョンによっては、[OK] をタップしたときにカメラのSSIDを選ぶ必要があります。「iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら」(□□30) をご覧ください。

### Wi-Fi接続時のご注意

- スマートフォンがスリープ状態になったり、SnapBridgeアプリから別のアプリに移動したりすると、Wi-Fi接続が切断されます。
- Wi-Fi接続中は、SnapBridgeアプリの一部の機能が使用できません。Wi-Fi接続を解除するには  タブ →  → [はい] をタップしてください。



## リモート撮影について

SnapBridgeアプリの タブ → [リモート撮影] をタップすると、スマートフォンを使ってカメラのシャッターをきることができます。

- SnapBridgeアプリの指示に従ってWi-Fi接続に切り換えてください。iOSでは、Wi-Fi接続に関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、「iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら」(□30) をご覧ください。
- カメラにメモリーカードが入っていないときは、リモート撮影はできません。

## iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら

SnapBridgeアプリはカメラとスマートフォンを通常Bluetoothで接続していますが、[画像取り込み] やリモート撮影をするときはWi-Fi接続に切り換えてください。iOSのバージョンによっては、手動での切り換えが必要です。その場合は次の手順で設定を行ってください。

- 1 スマートフォンの画面に表示されているカメラのSSID (初期値はカメラ名) とパスワードをメモしてから、[設定画面を開く] をタップする

- SSIDとパスワードは、カメラの [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接続設定] で変更できます。プライバシー保護のため、パスワードは定期的に変更することをおすすめします。変更するときは、無線接続を一時停止してください (□28)。



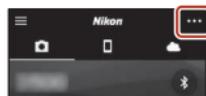
- 2 接続先リストから、手順1でメモしたSSIDを選ぶ

- はじめて接続するときは、手順1でメモしたパスワードを、大文字と小文字に注意して入力してください。2回目以降の接続時は、パスワードの入力は不要です。
- 右の画面のように、カメラのSSIDの横に✓が表示されたらWi-Fi接続は完了です。SnapBridgeアプリに戻り、アプリの操作を行ってください。



## 画像がうまく送信できないときは

- カメラの[撮影時画像送信]または[送信画像の指定]機能での画像送信中に接続が切断されたときは、カメラの電源を入れなおすと接続と画像送信が再開されることがあります。
- 一度接続を解除してから再度接続をすることで送信されることがあります。SnapBridgeアプリの📷タブ → ☰ → [カメラの解除] → 接続を解除したいカメラ → [はい] ※ をタップして接続を解除し、「カメラとスマートフォンを接続する」(📄25)に従って、再度接続してください。  
※iOSの場合は、デバイス登録についてのダイアログが表示されます。iOSの設定アプリを起動してデバイス(カメラ名)の登録を解除してください。



### ✓ 画像の送信およびリモート撮影についてのご注意

- カメラの操作中は、画像の送信機能およびリモート撮影が使えないことや、画像の送信が停止することがあります。
- 画像の送信機能 ([撮影時画像送信]、[送信画像の指定] または [お好み画像転送]) および [リモート撮影] は、シーンモードの [比較明合成] 設定時は使えません。設定を変更するか、再生モードにしてください。  
画像の送信機能は、通信メニュー [Bluetooth] → [電源オフ中の通信] → [する] のときは、カメラの電源をOFFにしても再開できます。



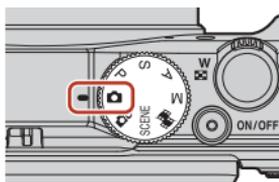
# いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ .....	33
 (オート撮影) モード .....	34
シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する) .....	35
クリエイティブモード (効果を付けて撮影する) .....	50
P、S、A、Mモード (露出を設定して撮影する) .....	52
マルチセレクターで設定する撮影機能 .....	56
フラッシュモード .....	57
セルフタイマー .....	60
マクロモード (接写する) .....	61
クリエイティブスライダーを使う .....	62
露出補正 (明るさを調節する) .....	64
ズームを使う .....	65
ピント合わせについて .....	67
フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧 .....	71
撮影時に組み合わせて使えない機能 .....	73



## 撮影モードを選ぶ

撮影モードダイヤルを回し、指標に合わせます。



- **📷 (オート撮影) モード**  
さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。
- **📷c (クリエイティブ) モード**  
1回の撮影で、エフェクト付きの画像4コマとエフェクトなしの画像を同時に記録します。
- **SCENE (シーン) モード**  
MENU ボタンを押して、シーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。
  - **[おまかせシーン]**：構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。
  - **[タイムラプス動画]**：静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画 (1080p [1080/30p] または 1080p [1080/25p]) にして記録します。
  - **[比較明合成]**：動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけを合成して1コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の軌跡を撮影します。
  - **[スーパーストills動画]**：カメラを移動させながら動画を撮影し、時間の経過による被写体の変化を記録するのに適しています。撮影した動画は、早送り動画 (1080p [1080/30p] または 1080p [1080/25p]) にして記録します。
  - **[ベストフェイス]**：人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。笑顔自動シャッターやセルフコラージュを使って撮影ができます。上記のほかにも、いろいろなシーンモードが選べます。
- **🎞️ (ショートムービーショー) モード**  
数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー (1080p [1080/30p] または 1080p [1080/25p]) を作成します。
- **P、S、A、Mモード**  
シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

### 📎 ヘルプ表示について

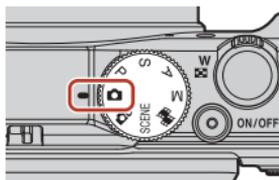
撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。すぐに撮影画面にするには、シャッターボタンを半押しします。説明の表示/非表示は、セットアップメニュー [モニター設定] の [ヘルプの表示] で切り換えられます。



## 📷 (オート撮影) モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます (ターゲットファインドAF)。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。
- 「ピント合わせについて」 → 📖67



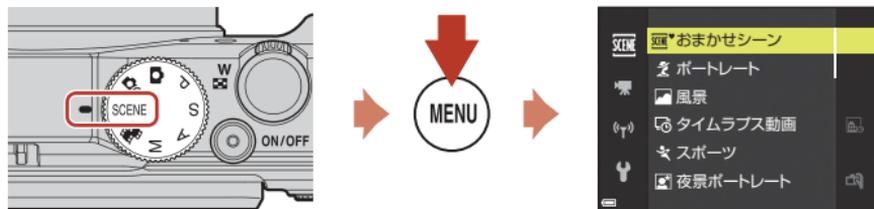
## 📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📖57)
- セルフタイマー (📖60)
- マクロモード (📖61)
- 露出補正 (📖64)
- 撮影メニュー (📖118)



## シーンモード（撮影状況に合わせて撮影する）

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。



MENU ボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下のシーンモードを選びます。

🏠 おまかせシーン（初期設定）（□□36）	🌃 夜景（□□37）※1※2
👤 ポートレート	🔍 クローズアップ（□□38）
🏞️ 風景 ※1※2	🍴 料理（□□38）
🎞️ タイムラプス動画（□□92）※2	💣 打ち上げ花火（□□38）※1※3
🏃 スポーツ（□□36）※1	🌑 逆光（□□39）※1
🌃 夜景ポートレート（□□37）	🏠 かんたんパノラマ（□□43）※1
🎉 パーティー（□□37）※2	🐶 ペット（□□40）
🏖️ ビーチ ※2	📷 比較明合成（□□41）※3※4
❄️ 雪 ※2	🎞️ スーパーラプス動画（□□94）
🔥 夕焼け ※2※3	😊 ベストフェイス（□□46）
🌆 トワイライト ※1※2※3	

※1 ピントは遠景に合います。

※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」（□□150）を「しない」にしてください。

※4 「夜景と光跡」では、ピントは画面中央のエリアで合わせます。「夜景と星軌跡」および「星軌跡」では、ピントは遠景に合います。



## シーンモードのヒントとご注意

### SCENE → 窓 おまかせシーン

- カメラを被写体に向けてと、撮影状況に合わせた設定に自動的に切り換わります。

	ポートレート (1~2人程度のアップ)
	ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	夜景
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影状況

- 撮影状況によっては、意図した設定に切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□□33)。
- 撮影時に人物を検出すると、美肌機能で顔の肌をなめらかにします (□□42)。

### SCENE → 旗 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
- 約 7 コマ / 秒の速度で約 7 コマ連写できます (画質 [NORMAL]、画像サイズ 20M [5184×3888] 時)。
- 画質、画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 2 コマ目以降のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。



## SCENE → 夜景ポートレート

-  [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影] (初期設定) :
  - 撮影画面の  アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 連写している間、被写体が動くとき画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
-  [三脚撮影] :
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
  - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□□150) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。
- フラッシュが常に発光します。フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
- 撮影時に人物を検出すると、美肌機能で顔の肌をなめらかにします (□□42)。

## SCENE → パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□□150) を [しない] にしてください。

## SCENE → 夜景

-  [夜景] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影] (初期設定) :
  - 撮影画面の  アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
-  [三脚撮影] :
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
  - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□□150) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。



## SCENE → 🍷 クローズアップ

- マクロモード (📷61) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。Ⓚ ボタンを押し、マルチセクターの ▲▼◀▶ または回転で移動し、Ⓚ ボタンで決定します。

## SCENE → 🍴 料理

- マクロモード (📷61) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。Ⓚ ボタンを押し、マルチセクターの ▲▼◀▶ または回転で移動し、Ⓚ ボタンで決定します。



## SCENE → 🎆 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- 望遠側のズーム位置は、300 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角までに制限されます。
- 露出補正は使えません (📷64)。



-  [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR (ハイダイナミックレンジ) 合成の [する] / [しない] を撮影状況に合わせて選びます。
- [しない] (初期設定) : 人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
  - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- [する] : 明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - シャッターボタンを全押しすると高速で連写し、以下の2コマを記録します。
    - HDR合成していない画像
    - HDR合成した画像 (白とびや黒つぶれを抑えた画像)
  - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング (☐82) で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。

### HDRについてのご注意

三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (☐150) を [しない] にしてください。



## SCENE → 🐾 ペット

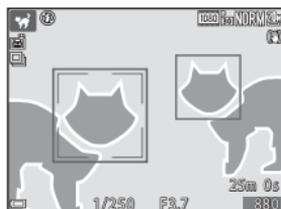
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、📷 [単写] または 📷 [連写] を選びます。
  - 📷 [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
  - 📷 [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

### ✔️ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの◀(👁)を押すと、[ペット自動シャッター]の設定を変更できます。
  - 📷：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
  - OFF：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。OFFのときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すとOFFになります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できません。

### ✔️ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央のエリアで合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



## SCENE → 比較明合成

- 動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけを合成して 1 コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の軌跡を撮影します。
- [比較明合成] を選ぶと表示される画面で、[夜景と光跡]、[夜景と星軌跡] または [星軌跡] を選びます。

項目	内容
[夜景と光跡]	<p>夜景を背景に、車のライトの流れなどを撮影するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマンドダイヤルを回して撮影間隔を設定できます。設定した撮影間隔が、シャッタースピードになります。50 コマ撮影すると自動終了します。</li> <li>• 10 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。</li> </ul>
[夜景と星軌跡]	<p>夜景を構図に入れて、星の動きを撮影するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 25 秒ごとに、シャッタースピード 20 秒で撮影します。300 コマ撮影すると自動終了します。</li> <li>• 30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。</li> </ul>
[星軌跡]	<p>星の動きを撮影するのに適しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 30 秒ごとに、シャッタースピード 25 秒で撮影します。300 コマ撮影すると自動終了します。</li> <li>• 30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。</li> </ul>

- 撮影の合間は画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが点灯します。
- 途中で撮影を終了するには、[ON] ボタンを押します。
- お好みの軌跡を得られたら撮影を終了してください。撮影を続けると、合成部分が白とびすることがあります。
- 撮影途中に自動で保存された画像と、撮影終了時に合成された画像は、グループ化され、撮影終了時に合成された画像が代表画像となります (P79)。

### 比較明合成についてのご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。
- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回したり、メモリーカードを交換したりしないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 露出補正は使えません (P64)。
- [夜景と星軌跡]、[星軌跡] の場合、望遠側のズーム位置は、300 mm相当 (35mm判換算) の撮影画角までに制限されます。

## いろいろな撮影

シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する)



## 残り時間について

撮影が自動終了するまでの残り時間を、画面で確認できます。



## 美肌機能について

[おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ベストフェイス] では、人物の顔をカメラが検出すると、画像処理で顔の肌をなめらかにして記録します（最大3人）。

再生時にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます（□83）。

## 美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。



# かんたんパノラマの撮影方法

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → かんたんパノラマ → OKボタン

- 1 撮影する範囲を **標準** [標準] または **ワイド** [ワイド] から選び、OKボタンを押す



- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面中央でピントが合います。



- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す△▽◀▶マークが表示されます。



- 4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。



## カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◁▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かしします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（【標準】時）、または約30秒（【ワイド】時）が経過すると撮影は終了します。



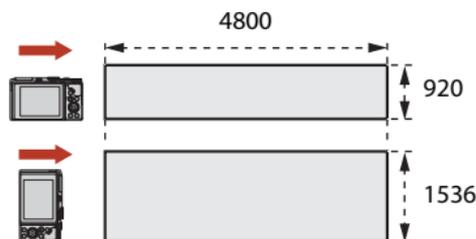
### ✓ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

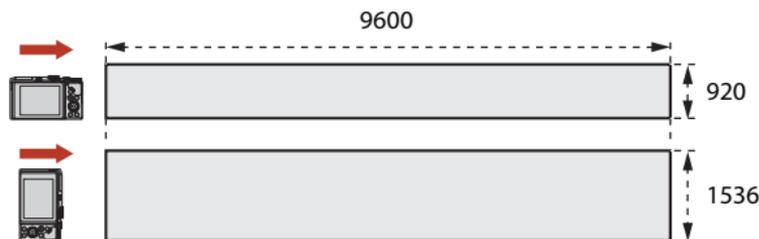
### 📎 かんたんパノラマの画像サイズについて

画像サイズ（ピクセル）は、以下の4種類になります。

#### 【標準】 に設定時



#### 【ワイド】 に設定時



## 🏠 いろいろな撮影

シーンモード（撮影状況に合わせて撮影する）



## かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして（20）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、 ボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

- マルチセレクターを回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、 ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し		 ボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。*
早送り		 ボタンを押している間、スクロールを早送りします。*
一時停止		一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		  ボタンを押している間、巻き戻しします。*
		  ボタンを押している間、スクロールします。*
		 自動スクロールを再開します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。

\* マルチセレクターを回しても操作できます。

### **かんたんパノラマ画像についてのご注意**

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

### **パノラマ写真をプリントするときのご注意**

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。



# ベストフェイスの撮影方法（顔をよりきれいに撮影する）

人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。

モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → ベストフェイス → ボタン → MENUボタン

## 1 マルチセクターの▶を押して、効果を付ける

- ◀▶で効果を選びます。
- ▲▼で効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。  
 [美肌]、 [ファンデーション]、 [ソフト]、 [鮮やかさ]、 [明るさ（露出補正）]
- スライダーを非表示にするには、 [終了] を選びます。
- すべての効果を確認したら、 ボタンを押します。



スライダー



効果

## 2 構図を決め、シャッターボタンを押す

### ベストフェイスについてのご注意

撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。

## ベストフェイスで設定できる機能

- セルフコラージュ（47）
- 目つぶり軽減（48）
- 笑顔自動シャッター（49）
- フラッシュモード（57）
- セルフタイマー（60）



## セルフコラージュを使う

4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます（コラージュ画像）。



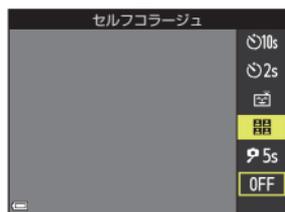
モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENU ボタン → 😊 ベストフェイス → OK ボタン → セルフコラージュ → OK ボタン

### 1 セルフコラージュの設定をする

- **撮影回数**：自動撮影する回数（集約画像のコマ数）を設定します。  
[4回]（初期設定）と [9回] から選びます。
- **撮影間隔**：1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。  
[短い]、[中間]（初期設定）、[長い] から選びます。
- **シャッター音の設定**：セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定します。  
[標準]、[一眼レフ風]、[マジカル]（初期設定）、[なし] から選びます。  
[なし] 以外を設定すると、カウントダウン音を鳴らします。  
セットアップメニューの [操作音] の [シャッター音] とは連動していません。
- 設定が終了したら、MENU ボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了してください。

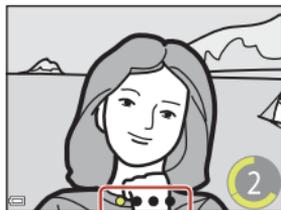
### 2 マルチセレクターの ◀ を押し、⌂ [セルフコラージュ] を選んで OK ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、先に設定してください（□46）。



### 3 撮影をする

- シャッターボタンを押すと、カウントダウン（約5秒）が始まり、自動的にシャッターがきれます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。
- 画面に撮影する回数分の○が表示されます。撮影中は緑色で表示され、撮影後は白色になります。



### 4 設定回数の撮影が終わると表示される画面で [はい] を選び、OK ボタンを押す

- コラージュ画像が保存されます。
- 撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。これらの画像はグループ化され、コラージュ画像が代表画像となります（□79）。
- [いいえ] を選んだときは、コラージュ画像は保存されません。

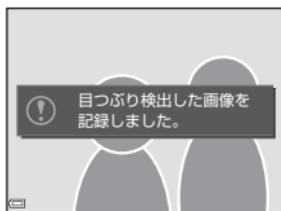
#### ✓ セルフコラージュについてのご注意

- 設定した回数の撮影が終わる前にシャッターボタンを押すと、撮影が中断されコラージュ画像は保存されません。中断前に撮影した1コマ画像は保存されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□73）。

### 目つぶり軽減を使う

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

- 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。



モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENU ボタン → ベストフェイス → OK ボタン → 目つぶり軽減 → OK ボタン

[する] または [しない]（初期設定）を選び、OK ボタンを押す

#### ✓ 目つぶり軽減についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□73）。

### いろいろな撮影

シーンモード（撮影状況に合わせて撮影する）



## 笑顔自動シャッターを使う

カメラが人物の笑顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。

モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENU ボタン →  ベストフェイス  
→  ボタン → MENU ボタン

マルチセレクターの  を押し、 [笑顔自動シャッター] を選んで  ボタンを押す

- メイクアップ効果は、笑顔自動シャッターよりも先に設定してください (□46)。
- シャッターボタンを押して撮影すると、笑顔自動シャッターが終了します。



### 笑顔自動シャッターについてのご注意

- 撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります (□68)。シャッターボタンを押しても撮影できます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□73)。

### セルフタイマーランプの点滅について

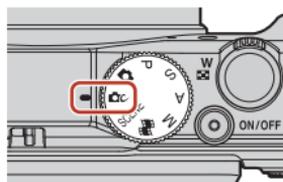
笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。



# クリエイティブモード（効果を付けて撮影する）

1回の撮影で、エフェクト付きの画像4コマとエフェクトなしの画像を同時に記録します。

- 画面中央でピントが合います。



## 1 OK ボタンを押す

- エフェクトの選択画面が表示されます。



## 2 マルチセクターの▲▼ でエフェクトを選ぶ

- [パラエティー]、[セレクトカラー赤]、[セレクトカラー緑]、[セレクトカラー青]、[ライト]（初期設定）、[デプス]、[メモリー]、[クラシック]、[ノワール] から選べます。
- 画面上部にはエフェクトなしの画像が表示されません。画面下部には、エフェクトを付けた画像が4種類表示されます。
- 動画に付けられるエフェクトは1種類のみです。◀ ▶を押して、付けたいエフェクトを選びます。



## 3 シャッターボタンまたは● (▶ 動画撮影) ボタンを押して撮影する

- 記録した5コマはグループ化されます。代表画像はエフェクトを付けた画像です (□79)。



## クリエイティブモードで設定できる機能

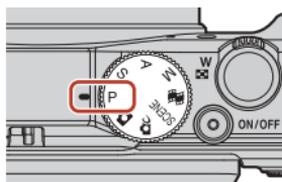
手順2で $\text{\textcircled{Q}}$ ボタンを押すと以下の機能が使えます。

- フラッシュモード (☞57)
- セルフタイマー (☞60)
- マクロモード (☞61)
- 露出補正 (☞64)

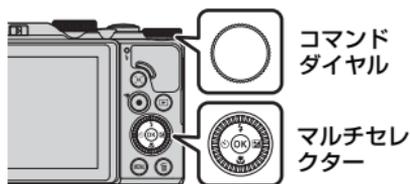


## P、S、A、Mモード（露出を設定して撮影する）

P、S、A、Mモードでは、撮影意図に応じて露出（シャッタースピードや絞り値などの組み合わせ）を自分で設定できます。さらに撮影メニュー（☰112）の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。



撮影モード	内容
P プログラムオート	<p>シャッタースピードと絞り値の設定をカメラまかせにして撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回すと、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます（プログラムシフト）。プログラムシフト中は画面左上に <b>✳</b>（プログラムシフトマーク）が表示されます。</li> <li>• プログラムシフトを解除するには、<b>✳</b>が消えるまでコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを設定時の逆方向に回すか、撮影モードを切り換えるか、または電源をOFFにします。</li> </ul>
S シャッター優先オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回してシャッタースピードを設定すると、絞り値をカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して絞り値を設定すると、シャッタースピードをカメラが自動制御します。
M マニュアル露出	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。シャッタースピードはコマンドダイヤルを回して設定します。絞り値はマルチセレクターを回して設定します。



## 露出設定のヒント

同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えると、被写体の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

### シャッタースピードによる効果

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影して動きを止めたり、遅いシャッタースピードで動きを強調したりできます。



速くする  
1/1000 秒



遅くする  
1/30 秒

### 絞り値による効果

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりできます。



小さくする  
(絞りを開く)  
f/3.4



大きくする  
(絞りを絞り込む)  
f/8

### シャッタースピードと絞り値について

- シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。
- このカメラのレンズは、絞り値がズーム位置によっても変化します。
- 露出を設定した後にズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど（絞りを開くほど）明るくなり、数値が大きくなるほど（絞りを絞るほど）暗くなります。数値が一番小さい状態を「開放絞り」、一番大きい状態を「最小絞り」といいます。

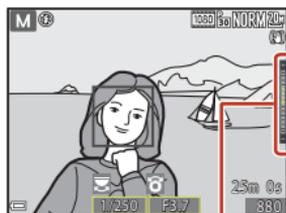


## ✓ 露出設定についてのご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅したり（P、S、Aモード時）、露出インジケーターが赤色表示になったり（Mモード時）します。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

## 露出インジケーターについて（Mモード時）

設定した露出値とカメラが測定した適正露出値の差が画面の露出インジケーターに表示されます。露出インジケーターは、-2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに表示されます。



露出インジケーター

## ✓ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定]（□□115）を[オート]（初期設定）または[感度制限オート]に設定すると、ISO 80に固定されます。

## P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード（□□56）
- セルフタイマー（□□56）
- マクロモード（□□56）
- クリエイティブスライダー（□□56）
- 撮影メニュー（□□112）

## ✎ AFエリアについて

ピント合わせをするエリアは、撮影メニューの[AFエリア選択]（□□115）の設定によって異なります。初期設定の[ターゲットファインドAF]では、カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせません（□□67）。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



## シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、Mモード時)

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

設定		制御範囲 (秒)			
		Pモード	Sモード	Aモード	Mモード
ISO感度 設定※1 (□125)	オート※2	1/2000～ 1秒	1/2000～2秒		1/2000～ 8秒
	ISO 80-400※2 ISO 80-800※2		1/2000～4秒		
	ISO 80, 100, 200		1/2000～8秒		
	ISO 400, 800		1/2000～4秒		
	ISO 1600		1/2000～2秒		
	ISO 3200		1/2000～1秒		
連写 (□123)	連写H、連写L	1/2000～1秒			
	先取り撮影	1/4000～1/120秒			
	高速連写 120 fps				
	高速連写 60 fps	1/4000～1/60秒			

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます (□73)。

※2 Mモードの時は、ISO 80に固定。



## マルチセレクターで設定する撮影機能

撮影画面でマルチセレクターの▲ (⚡) ◀ (⌚) ▼ (🌸) ▶ (☑) を押すと、以下の機能を設定できます。



- ⚡ **フラッシュモード**  
フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- ⌚ **セルフタイマー / 自分撮りタイマー**
  - セルフタイマー：10秒または2秒後に自動でシャッターがきれます。
  - 自分撮りタイマー：5秒後にピントを合わせ、自動でシャッターがきれます。
- 🌸 **マクロモード**  
被写体に近づいて撮影するときに設定します。
- ☑ **クリエイティブスライダー（☑ 明るさ（露出補正）/🌸 鮮やかさ/🍷 色合い/👁️ アクティブD-ライティング）**  
画像全体の明るさ（露出補正）を調節できます。  
撮影モードがシーンモードの [ベストフェイス] のときは、メイクアップ効果を付けられます。  
P、S、A、Mモードのときは、画像全体の明るさ、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

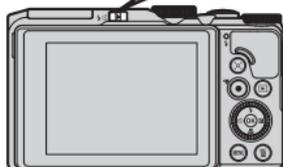
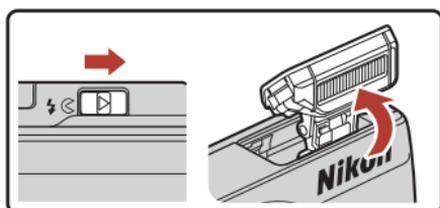


# フラッシュモード

フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

- 1 ⚡Ⓞ (フラッシュポップアップ) レバーを動かし、フラッシュをポップアップさせる

- フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、Ⓞが表示されます。



- 2 マルチセレクターの▲ (⚡) を押す



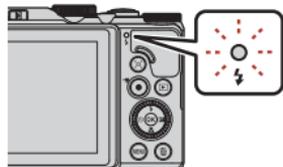
- 3 フラッシュモード (📖58) を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないと、選択はキャンセルされません。



## 📌 フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は画面が消灯します。



## フラッシュモードの種類

### AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

### 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (□59)。

- [赤目軽減発光] では、常にフラッシュを発光します。

### 強制発光/通常発光

常にフラッシュを発光します。

### SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

## フラッシュ撮影についてのご注意

ズーム位置が広角側で、フラッシュを使うと、撮影距離によっては画像の周辺部が暗くなる場合があります。

望遠側に少しズーム操作すると、改善することがあります。

## フラッシュモードの設定について

設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

フラッシュモード	 	SCENE		P <sup>※1</sup>	S <sup>※1</sup>	A <sup>※1</sup>	M <sup>※1</sup>
 AUTO 自動発光	○	※2	×	×	×	×	×
 赤目軽減自動発光	○		×	×	×	×	×
 赤目軽減発光	×		×	○	○	○	○
 強制発光	○		×	×	×	×	×
 通常発光	×		×	○	○	○	○
 SLOW スローシンクロ	○		×	○	×	○	×

※1 P、S、A、Mモードで設定した場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

※2 設定によって異なります。→「フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧」(□71)



## 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。



# セルフタイマー

シャッターボタンを押してから数秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときには、セットアップメニューの[静止画手ブレ補正] (□□150) を[しない] にしてください。

## 1 マルチセレクターの ◀ (☺) を押す



## 2 セルフタイマーモードを選び、OK ボタンを押す

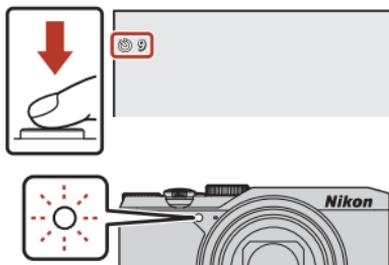
- [☺10s] (10秒)：記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒)：手ブレの軽減に適しています。
- [95s] (5秒)：自分撮りに適しています。
- OK ボタンを押さないと、選択はキャンセルされません。
- 撮影モードがシーンモードの[ペット] のときは、 (ペット自動シャッター) (□□40) と 95s (自分撮りタイマー) が表示されます。
- 撮影モードがシーンモードの[ベストフェイス] のときは、 (笑顔自動シャッター) または (セルフコラージュ) も選べます (□□49、47)。



## 3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

### 4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーはOFFになります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



### セルフタイマーのピントと露出について

設定によって、ピントと露出を合わせるタイミングが異なります。

- [☺10s] / [☺2s]：手順3で半押しをすると、ピントと露出を合わせます。
- [95s]：シャッターがきれる直前にピントと露出を合わせます。



## マクロモード（接写する）

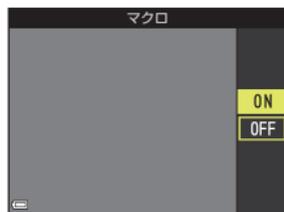
被写体に近づいて撮影するときに設定します。

### 1 マルチセレクターの▼（🌸）を押す



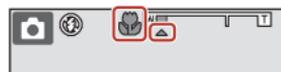
### 2 ONを選び、OKボタンを押す

- OKボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



### 3 ズームレバーを動かし、🌸マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- △マークのズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。



#### マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（□71）。
- 撮影モードP、S、A、Mまたはショートムービーショーモードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。



# クリエイティブスライダーを使う

撮影モードがP、S、A、Mモードのとき、明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節して撮影できます。

## 1 マルチセクターの▶ (🔍) を押す



## 2 ◀ ▶で項目を選ぶ

- 🎨 [色合い]: 画像全体の色合い (赤み/青み) を調節します。
- 🌟 [鮮やかさ]: 画像全体の鮮やかさを調節します。
- 🔍 [明るさ (露出補正)]: 画像全体の明るさを調節します。
- 🌑 [アクティブD-ライティング]: 白とびや黒つぶれを軽減します。効果の度合いを 暗H (強め)、暗N (標準)、暗L (弱め) から選びます。



## 3 ▲▼で調節する

- 画面で調節の度合いを確認できます。
- 他の項目を設定するには、手順2に戻ります。
- スライダーを非表示にするには、🔍 [終了] を選びます。
- すべての設定を取り消すには、R [リセット] を選び🔍 ボタンを押します。手順2からやり直してください。



## 4 設定が終了したら、🔍 ボタンを押す

- 設定が反映され、撮影画面に戻ります。



## クリエイティブスライダーの設定について

- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□73)。
- 明るさ (露出補正)、鮮やかさ、色合い、およびアクティブD-ライティングの設定は、電源をOFFにしても記憶されず。
- 撮影モードが、Mモードの場合、アクティブD-ライティングは使えません。
- ヒストグラム表示について→□□64

## 【アクティブD-ライティング】と【D-ライティング】の違い

- 【アクティブD-ライティング】は、白とびを抑えるように撮影し、記録時に階調を調節します。
- 再生メニューの【D-ライティング】(□□82)は、記録した画像の階調を調節します。



## 露出補正（明るさを調節する）

撮影モードが📷（オート撮影）モード、シーンモード、クリエイティブモードまたはショートムービーショーモードのとき、明るさ（露出補正）を調節できます。

### 1 マルチセレクターの▶（🔍）を押す



### 2 補正値を選び、OKボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OK ボタンを押さなくても、補正値が設定されます。



#### 📎 露出補正の設定について

- 撮影モードが、シーンモードの [打ち上げ花火]、[タイムラプス動画] の星空と星軌跡、または [比較明合成] の場合、露出補正は使えません。
- 撮影モードが、ショートムービーショーモードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

#### 📎 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

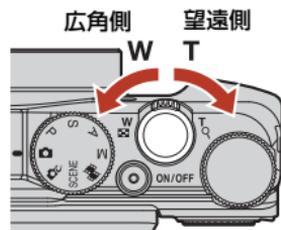
- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。



## ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：T側
- 広い範囲を写す：W側  
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーをT側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



### ✓ 電子ズーム倍率について

電子ズーム倍率は、[動画設定] (□□130) を [2160/30p] (4K UHD) または [2160/25p] (4K UHD) に設定すると、約2倍までに制限されます。

### ✎ 電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

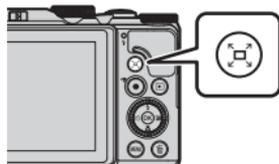
- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。



## クイックバックズームを使う

望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム) ボタンを押すと、見える範囲 (画角) が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。

-  ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング枠内に被写体を捉えます。見える範囲を変えるには、 ボタンを押したまま、ズームレバーを操作します。
-  ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えません。



フレーミング枠



# ピント合わせについて

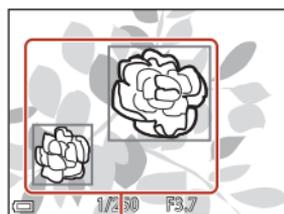
## シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることを「半押し」といいます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</li><li>ピントを合わせる位置（AF エリア）は、撮影モードによって異なります。</li></ul>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込むことを「全押し」といいます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>全押しするとシャッターがきれます。</li><li>全押しするとき力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</li></ul>

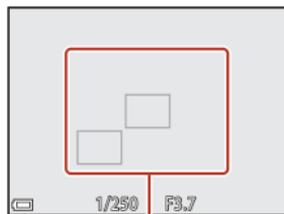
## ターゲットファインドAFについて

📷（オート撮影）モード、またはP、S、A、Mモードで [AFエリア選択] (📖126) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。
- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア



AF エリア



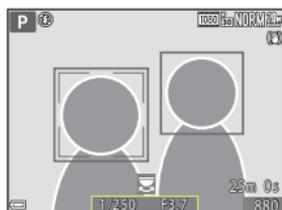
## ✓ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 被写体が非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

## 顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- シーンモード (□35) の [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート]、[ベストフェイス]
- [AFエリア選択] (□126) を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- [おまかせシーン] では、カメラが判別した撮影状況によって AF エリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ベストフェイス] では、画面中央にピントが合います。
- [AFエリア選択] を [顔認識オート] に設定時は、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

## ✓ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

## 📎 動画撮影時の顔認識について

動画撮影時、動画メニューで [AFエリア選択] (□134) を [顔認識オート] に設定すると、顔にピントを合わせて撮影できます。

顔を認識していない状態で ● (▶) ボタンを押した場合は、画面中央にピントが合いません。



## オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□70）をお試しください。



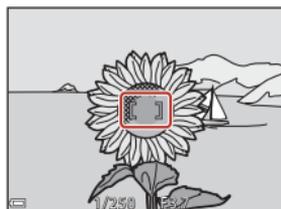
## フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

### 1 P、S、A、Mモードで[AFエリア選択]を[中央]に設定する(□126)

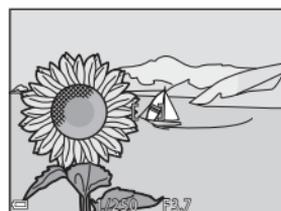
### 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

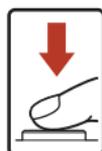


### 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



### 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



#### AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モードP、S、A、Mでは、撮影メニューの[AFエリア選択](□126)をマニュアルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。



# フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ (□56)	セルフタイマー (□56)	マクロ (□56)
📷 (オート撮影)	⚡AUTO	OFF	OFF
📷📷 (クリエイティブモード)	⚡AUTO	OFF	OFF
SCENE			
🏠 (おまかせシーン)	⚡AUTO※1	OFF	OFF※2
👤 (ポートレート)	⚡👤	OFF	OFF※3
🌄 (風景)	📷※3	OFF	OFF※3
🕒 (タイムラプス動画)	📷※3	OFF	OFF※3
🏃 (スポーツ)	📷※3	OFF※3	OFF※3
🌃 (夜景ポートレート)	⚡👤※3	OFF	OFF※3
🎉 (パーティー)	⚡👤※4	OFF	OFF※3
🏖️ (ビーチ)	⚡AUTO	OFF	OFF※3
❄️ (雪)	⚡AUTO	OFF	OFF※3
🔥 (夕焼け)	📷※3	OFF	OFF※3
🌆 (トワイライト)	📷※3	OFF	OFF※3
🌃 (夜景)	📷※3	OFF	OFF※3
🌿 (クローズアップ)	⚡AUTO	OFF	ON※3
🍴 (料理)	📷※3	OFF	ON※3
💣 (打ち上げ花火)	📷※3	OFF※3	OFF※3
📷 (逆光)	⚡※5、📷※5	OFF	OFF※3
📷 (かんたんパノラマ)	📷※3	OFF※3	OFF※3
🐾 (ペット)	📷※3	📷※6	OFF
📷 (比較明合成)	📷※3	🕒2s	OFF※3
🕒 (スーパーラプス動画)	📷※3	OFF	OFF
😊 (ベストフェイス)	⚡AUTO※7	OFF※8	OFF※3
🎭 (ショートムービショー)	📷※3	OFF	OFF
P、S、A、M	⚡	OFF	OFF



- ※1 変更できません。判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。
- ※2 変更できません。に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※5 [HDR] が [しない] のときは  (強制発光) に、[HDR] が [する] のときは  (発光禁止) に固定されます。
- ※6 ペット自動シャッター (□40)、自分撮りタイマー、OFFを設定できます。
- ※7 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※8 セルフタイマー以外に、 (笑顔自動シャッター) (□49) や  (セルフコラージュ) (□47) も使えます。



## 撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (☐123)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☐48)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	AFエリア選択 (☐126)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (☐126)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは設定できません。
画質	連写 (☐123)	[先取り撮影]、[高速連写 120fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[NORMAL] に固定されます。
画像サイズ	連写 (☐123)	連写の設定によって、[画像サイズ] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [先取り撮影] 時：   (画像サイズ：1280×960 ピクセル)</li> <li>• [高速連写 120 fps] 時：   [640×480]</li> <li>• [高速連写 60 fps] 時：   (画像サイズ：1280×960 ピクセル)</li> </ul>
ホワイトバランス	クリエイティブスライダの色合い (☐62)	クリエイティブスライダーで色合いを調節すると、撮影メニューの [ホワイトバランス] は設定できません。[ホワイトバランス] を設定するときは、クリエイティブスライダーの設定画面で  を選び、いったん明るさ、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングの設定をリセットしてください。
連写	セルフタイマー (☐60)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
ISO感度設定	連写 (☐123)	[先取り撮影]、[高速連写 120fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は明るさに応じて自動的に設定されます。
AFエリア選択	ホワイトバランス (☐120)	[ターゲットファインドAF] 時、[ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要な被写体は検出しません。
目つぶり軽減	笑顔自動シャッター (☐49)	[笑顔自動シャッター] を設定すると、[目つぶり軽減] は使えません。
	セルフカラーージュ (☐47)	[セルフカラーージュ] を設定すると、[目つぶり軽減] は使えません。



制限される機能	設定	内容
日付写し込み	連写 (□123)	[連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、日時を写し込みません。
静止画手ブレ補正	フラッシュモード (□57)	[する (ハイブリッド)] に設定時、フラッシュが発光する場合、[する] に固定されます。
	セルフタイマー (□60)	[する (ハイブリッド)] に設定時、セルフタイマーにすると、[する] に固定されます。
	連写 (□123)	[する (ハイブリッド)] に設定時、[単写] 以外にすると、[する] に固定されます。
	ISO感度設定 (□125)	[する (ハイブリッド)] に設定時、ISO感度を [感度制限オート] またはISO 400 以上に設定すると、[する] に固定されます。
電子ズーム	AFエリア選択 (□126)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。

#### 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (□151)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。



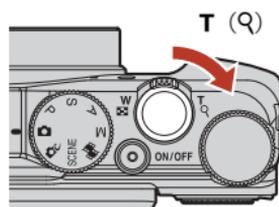
# いろいろな再生

拡大表示.....	76
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	77
撮影日一覧モード.....	78
グループ画像の再生と削除.....	79
画像の編集（静止画）.....	81

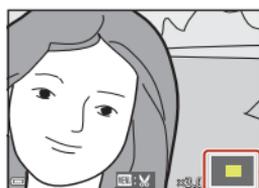
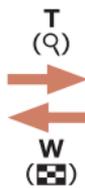


## 拡大表示

再生モードの1コマ表示 (□20) でズームレバーを T (Q 拡大表示) 側に動かすと、拡大表示されます。



1コマ表示



拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームレバー (W (Q) / T (Q)) を動かします。コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にOKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

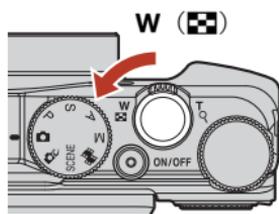
### 画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (□86)。



## サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□20) でズームレバーを **W** (☒サムネイル表示) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



1コマ表示



サムネイル表示



カレンダー表示

- 表示コマ数は、ズームレバー ( **W** (☒) / **T** (Q) ) で変更できます。
- サムネイル表示で、マルチセレクターの ▲▼◀▶ または回転で、画像を選び **OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀▶ または回転で、日付を選び **OK** ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

### ☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2016年1月1日」の画像として扱われます。



## 撮影日一覧モード

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → MODE メニューアイコン →  
12 撮影日一覧 → OK ボタン

マルチセレクターの▲▼で日付を選び、OK ボタンを押すと、選んだ撮影日の画像を再生します。

- 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー (□112) の機能が使えます ([画像コピー] を除く)。
  - 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。
    - MENU ボタン：以下の機能が使えます。
      - スライドショー
      - プロテクト設定\*
- \* 選んだ撮影日の画像をすべて同じ設定にできます。
- 削除ボタン：選んだ撮影日の画像を、すべて削除します。

撮影日一覧		
	2016/11/30	[ 3 ]
	2016/11/25	[ 2 ]
	2016/11/20	[ 11 ]
	2016/11/15	[ 4 ]

### ✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去 29 日分までです。それ以前の画像は、[過去画像] に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から 9,000 コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2016年1月1日」の画像として扱われます。



# グループ画像の再生と削除

## グループ画像の再生方法

連写した画像や比較明合成、セルフカラーージュ、クリエイティブモードで撮影した画像は「グループ画像」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマを代表画像として表示します。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**OK** ボタンを押します。



**OK** ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセクターを回すか、**◀ ▶**を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、**▲** を押し、代表画像の表示に戻します。
- グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生するには、再生メニュー [**グループ表示設定**] (📖142) を [**1枚ずつ**] にしてください。



### ✔ グループ画像の表示方法について

このカメラ以外で撮影した画像は、グループ画像として表示できません。

### 📎 グループ画像で使える再生メニュー

- グループ内の画像の1コマ表示中に**MENU**ボタンを押すと、再生メニュー (📖112) の機能が選べます。
- 代表画像で**MENU**ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
  - 送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー



## グループ画像を削除する

グループ画像では、 (削除) ボタンを押すときに表示されている画像によって、削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
  - **〔表示画像〕**： 表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
  - **〔削除画像選択〕**： 削除画像の選択画面 (□22) で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
  - **〔全画像〕**： メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
  - **〔表示画像〕**： 表示している1コマを削除します。
  - **〔削除画像選択〕**： グループ内の画像を選択して削除します。
  - **〔表示グループ〕**： 表示しているグループ内の画像をすべて削除します。



# 画像の編集（静止画）

## 画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

### 画像編集の制限

- 画像は、10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

## クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

画像を加工して、さまざまな効果を付けます。

[絵画調]、[フォトイラスト]、[ソフトポートレート]、[背景モノクロポートレート]、[魚眼効果]、[クロススクリーン]、[ミニチュア効果] から選べます。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、**OK** ボタンを押す



- 2 マルチセレクターの▲▼◀▶または回転で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ズームレバー（）を**T**（）側に動かすと1コマ表示に、**W**（）側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



## 簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン  
→ 簡単レタッチ → OK ボタン

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀ を押します。



## D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン  
→ D-ライティング → OK ボタン

マルチセクターの▲▼で [実行] を選び、OK ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、[キャンセル] を選び、OK ボタンを押します。



## 赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン  
→ 赤目補正 → OK ボタン

効果を確認し、OK ボタンを押す

- ・ 中止するときは、マルチセレクターの◀を押します。



### ✓ 赤目補正についてのご注意

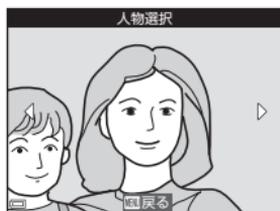
- ・ カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ・ ペット（犬または猫）の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- ・ 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ・ まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

## メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン  
→ メイクアップ効果 → OK ボタン

1 マルチセレクターの▲▼◀▶で編集する  
人物を選び、OK ボタンを押す

- ・ 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



## 2 ◀ ▶で効果の種類を、▲▼で効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- 同時に複数の効果を付けられます。  
OKボタンを押す前に、すべての効果を設定または確認してください。

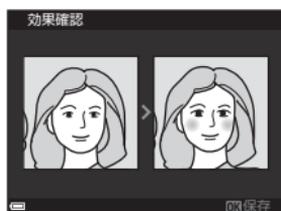
😊 (小顔)、👉 (美肌)、👁️ (ファンデーション)、👂 (テカリ軽減)、😁 (クマ軽減)、👁️ (ビッグアイ)、👁️ (ホワイトアイ)、👁️ (アイシャドウ)、👁️ (マスカラ)、👁️ (歯のホワイトニング)、👄 (リップカラー)、👄 (チーク)

- 人物の選択画面に戻るには、MENUボタンを押します。



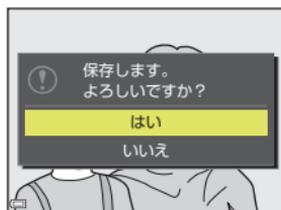
## 3 効果を確認し、OKボタンを押す

- 設定をやり直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、MENUボタンを押します。



## 4 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



## ✔ メイクアップ効果についてのご注意

- 一回で編集できる顔は1人です。別の顔にメイクアップ効果をつけるには、編集済み画像を再編集します。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像、および画像サイズが640×480以上の画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。



## スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン  
→ スモールピクチャー → OK ボタン

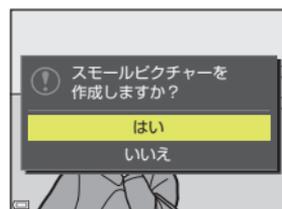
### 1 マルチセクターの ▲▼ でスモールピクチャーのサイズを選び、OK ボタンを押す

- アスペクト比16:9の画像の場合は、640×360のサイズに固定です。アスペクト比1:1の画像の場合は、480×480のサイズに固定です。OK ボタンを押して手順2へ進んでください。



### 2 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。



# トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（☐76）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU（メニュー）ボタンを押す

- ズームレバーをT（Q）またはW（☒）側に動かして拡大率を調節します。☒:☒が表示される拡大率にしてください。
- マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。



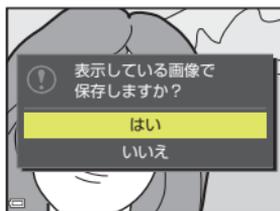
3 画像を確認し、OKボタンを押す

- 切り抜きたい部分を選び直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- トリミング画像を保存せずに終了するには、MENUボタンを押します。



4 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 編集画像が作成されます。



## ✏ 画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。



# 動画

動画の基本的な撮影と再生 .....	88
動画撮影中に静止画を記録する .....	91
タイムラプス動画を撮影する .....	92
スーパーラプス動画を撮影する .....	94
ショートムービーショーモード（つなげて作る短編動画）.....	95
動画再生中の操作 .....	98
動画の編集 .....	99



# 動画の基本的な撮影と再生

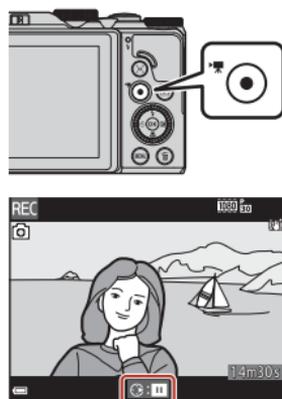
## 1 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします (□89)。



## 2 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AF エリア選択] (□134) の設定によって異なります。初期設定は、[顔認識オート] です。
- マルチセレクターの ▶ を押すと撮影を一時停止し、もう一度▶を押すと撮影を再開します ( [動画設定] をHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます (□91)。



## 3 ● (▶) ボタンを押して、撮影を終了する

## 4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、OK ボタンを押して再生する

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。



## 動画枠について

- 動画枠を表示するには、セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] で [動画枠+情報オート] を設定します (P147)。動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 動画の写る範囲は、動画メニューの [動画設定] や [動画手ブレ補正] などの設定によって異なります。

## 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。[動画設定] が  [2160/30p] (4K UHD) または  [2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- [動画設定] によっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、メモリーカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。

### カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 ( 10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。



## 動画撮影についてのご注意

### ✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

### ✓ 記録した動画についてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

### ✓ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- 動画メニューの「動画手ブレ補正」（□□136）を「する（ハイブリッド）」に設定すると、動画撮影時に画角（写る範囲）が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、「動画手ブレ補正」を「しない」に設定してください。

### ✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□□69）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの「AF エリア選択」を「中央」に、「AF モード」を「シングルAF」（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して ● (◀▶) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。



## 動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に  が表示されているときに記録できます。表示が  のときは記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、動画の画像サイズ (□□130) によって異なります。



### ✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
  - 動画撮影の一時停止中
  - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
  - **[動画設定]** (□□130) が  [2160/30p] (4K UHD) または  [2160/25p] (4K UHD)、 [480/30p] または  [480/25p]、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。



## タイムラプス動画を撮影する

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

- 動画メニューの [フレームレート設定] が [30 fps (30p/60p)] 時は、30コマ撮影し [1080/30p] で記録します。[25 fps (25p/50p)] 時は、25コマ撮影し [1080/25p] で記録します。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → タイムラプス動画 → OKボタン

種類/撮影所要時間	撮影間隔	
	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)
 街中/10 分間撮影※ <sup>1</sup> (初期設定)	2秒	2.4秒
 風景/25 分間撮影※ <sup>1</sup>	5秒	6秒
 夕焼け/50 分間撮影※ <sup>1</sup>	10秒	12秒
 星空/150 分間撮影※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	30秒	36秒
 星軌跡/150 分間撮影※ <sup>3</sup> ※ <sup>4</sup>	30秒	36秒

※<sup>1</sup> ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※<sup>2</sup> 星の動きなどに適しています。ピントは無限遠に固定します。

※<sup>3</sup> 望遠側のズーム位置は、300 mm相当 (35mm判換算) の撮影画角までに制限されます。

※<sup>4</sup> 画像処理で星の動きを光の線で表現します。ピントは無限遠に固定します。

- 1 マルチセレクターの ▲▼ で種類を選び、OKボタンを押す



## 2 露出（明るさ）を固定するかどうかを選び、**AE-L** ボタンを押す（星空および星軌跡を除く）

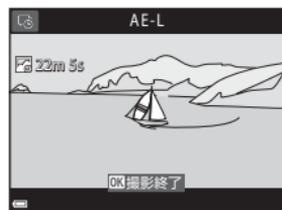
- **[AE-L する]** にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは**[AE-Lしない]** をおすすめします。



## 3 三脚などでカメラを固定する

## 4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 露出補正 (□64) は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれれます。
- 撮影の合間は、画面が消灯することがあります。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- **AE-L** ボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラプス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。



### ✓ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。メモリーカードは、撮影を終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- ● (★) ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回さないでください。
- セットアップメニューの**[静止画手ブレ補正]** (□150) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。



# スーパーラプス動画を撮影する

動画を撮影し、早送り動画（ [1080/30p] または  [1080/25p]）にして記録します。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮して記録するのに適しています。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン →  スーパーラプス動画 →  ボタン

## 1 [再生倍速設定] から再生倍速を選び、 ボタンを押す

- 初期設定の [6倍速] では、6分間撮影した場合、1分間の動画として再生されます。
- 最長撮影時間は29分までです。



## 2 ● ( 動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AF エリア選択] (126) の設定によって異なります。初期設定は、[顔認識オート] です。
- 撮影時間と再生時間を画面で確認できます。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします (147)。
- 音声は記録されません。



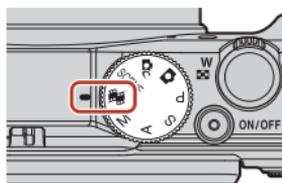
### 静止画撮影について

- ● ( 動画撮影) ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、静止画 (画質 [NORMAL]、画像サイズ  [5184×2920]) を撮影できます。
- 動画の撮影中に静止画を撮影できます (91)。



# ショートムービーショーモード (つなげて作る短編動画)

数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービーショー (1080/30p [1080/30p] または 1080/25p [1080/25p]) を作成します。



## 1 MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影の設定をする

- [撮影回数]: 動画 (素材) の記録時間と撮影回数の組み合わせを選びます。初期設定では、2 秒間の素材を 15 回撮影し、30 秒間の動画を作成します。
- [スペシャルエフェクト]: さまざまな効果をつけて撮影できます (□96)。効果は素材ごとに変更できます。
- [BGM]: バックグラウンドミュージックを選びます。ズームレバー (□2) を T (Q) 側に動かすと、試聴できます。
- 設定が終了したら、MENU ボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了してください。



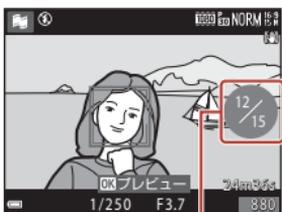
## 2 ● (🎬 動画撮影) ボタンを押して、素材を撮影する

- 手順 1 で設定した素材の記録時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。
- 一連の撮影は、一時的に中断できます。→「撮影の中断について」(□97)



## 3 撮影した素材を確認、または削除する

- 確認するには、Ⓜ ボタンを押します。
- 削除するには、🗑 ボタンを押します。直前に撮影した素材、またはすべての素材を削除できます。
- 素材の撮影を続けるには、手順2の操作を繰り返します。
- 効果を変更するには、手順1に戻ります。



撮影回数



## 4 ショートムービーショーを保存する

- 設定した回数の素材を撮影し終わると、ショートムービーショーが保存されます。
- 設定した回数の撮影を終える前にショートムービーショーを保存するには、撮影待機画面でMENUボタンを押し、[撮影終了]を選びます。
- 保存すると、素材は削除されます。

## スペシャルエフェクトの効果

機能	内容
SOFTソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIAノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
■ 硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
✍ セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
🌀 クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
📷1 トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
📷2 トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
しない (初期設定)	スペシャルエフェクトを使用しません。

- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、マルチセレクターの▲▼で色を選び、OKボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度OKボタンを押します。

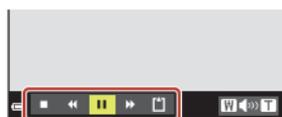


## 素材確認中の操作

音量を調整するには、再生中にズームレバー (📏) を動かします。

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



操作パネル

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀	OKボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶	OKボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
		◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
再生終了	■	撮影の待機画面に戻ります。	
撮影終了	📷	撮影済みの素材でショートムービーショーを保存します。	

### ✓ 撮影時のご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。
- ショートムービーショーを保存するまでは、メモリーカードを交換しないでください。

### 📎 撮影の中断について

- 待機画面でシャッターボタンを押すと、静止画 (画質 [NORMAL]、画像サイズ 5184x2920) を撮影できます。
- 撮影を中断して、他のモードに切り換えて撮影や再生ができます。再度 📷 (ショートムービーショー) モードを選ぶと、素材の撮影を再開できます。

## ショートムービーショーモードで設定できる機能

- セルフタイマー (📏60)
- マクロモード (📏61)
- 露出補正 (📏64)
- 動画メニュー (📏112)



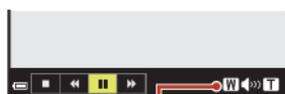
## 動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー（)を動かします。

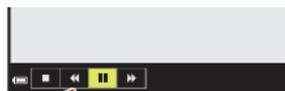
早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回します。

画面に操作パネルが表示されます。

マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



音量表示



一時停止時

機能	アイコン	内容
巻き戻し		OKボタンを押している間、巻き戻します。
早送り		OKボタンを押している間、早送りします。
一時停止		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		 コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。*
		 コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。*
		 再生を再開します。
		 撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
 撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。		
再生終了		1コマ表示に戻ります。

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り/コマ戻しできます。



## 動画の編集

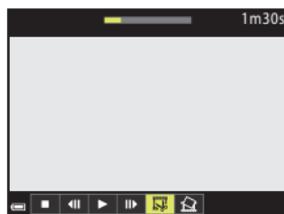
動画の編集をするときは、編集集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。

### 動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

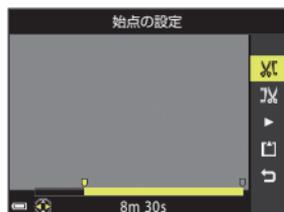
1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する  
(98)

2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルのを選び、ボタンを押す



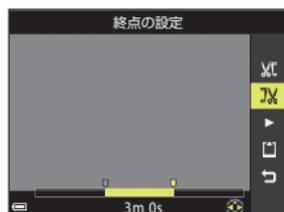
3 ▲▼で編集操作パネルの (始点の設定) を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、始点を調節します。
- 編集を中止するには、 (戻る) を選び、 ボタンを押します。



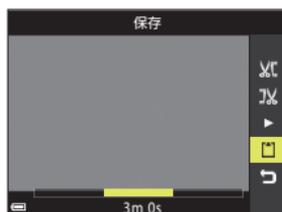
4 ▲▼で (終点の設定) を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼でを選び、 ボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度 ボタンを押します。



## 5 ▲▼で□(保存)を選び、OK ボタンを押す

- 画面に従って保存します。



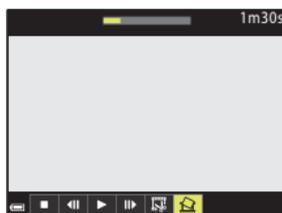
### ✓ 動画の切り出しについてのご注意

- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

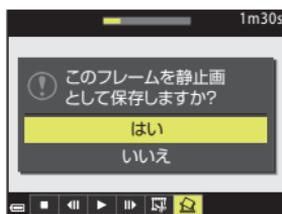
## 動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (□98)。
- マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの📷を選び、OK ボタンを押します。



- 確認画面で [はい] を選び、OK ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は [NORMAL] です。画像サイズは元の動画の画像サイズ (□130) になります。



### ✓ 静止画切り出しの制限

480画素 [480/30p]、480画素 [480/25p]、HS動画で撮影した動画から静止画を切り出すことはできません。



# テレビ、プリンター、パソコンとの接続

画像の活用方法 .....	102
テレビで鑑賞する .....	103
パソコンを使わずにプリントする .....	104
パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i) .....	108



## 画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridge アプリを使って楽しむだけでなく、以下の機器とカメラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

### テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。

接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

### パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

### パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。

接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

・パソコンと接続する前にViewNX-iをパソコンにインストールしてください。

### ✓ カメラにケーブルを接続するときのご注意



端子カバーを開ける



Micro-USB端子

HDMIマイクロ端子  
(Type D)

プラグを差し込む

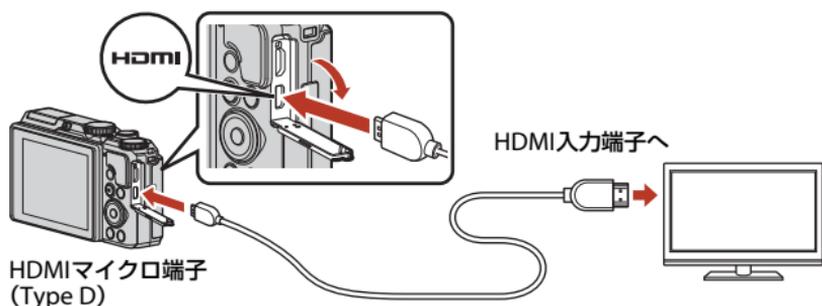
- ・プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFFにしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- ・カメラの電池残量が十分であることを確認してください。別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- ・接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



# テレビで鑑賞する

## 1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

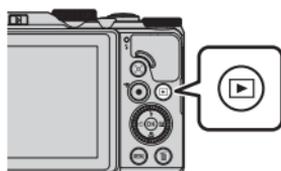


## 2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

## 3 カメラの (再生) ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの画面は点灯しません。
-  [2160/30p] (4K UHD) または  [2160/25p] (4K UHD) で記録した動画を4K UHD画質で再生するには、4Kに対応したテレビおよびHDMIケーブルをお使いください。



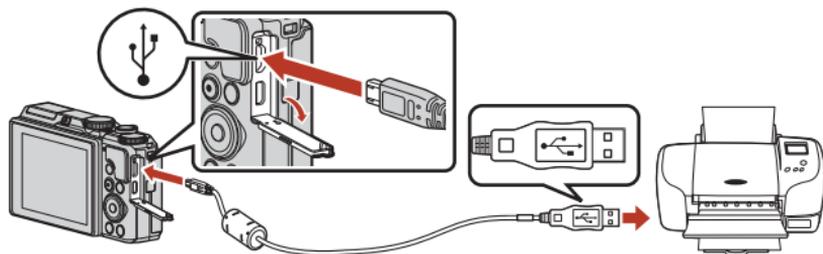
# パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

## カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する

- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる

- カメラの画面に **[PictBridge]** 画面 (①) が表示された後、**[プリント画像選択]** 画面 (②) が表示されます。



### ✔ PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、**[パソコン接続充電]** (☐157) を **[オート]** にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、**[パソコン接続充電]** を **[しない]** に設定してから、再接続してください。



# 1コマずつプリントする

## 1 マルチセレクトの◀▶でプリントする画像を選び、OKボタンを押す

- ズームレバーを **W** (📷) 側に動かすと一覧表示に、**T** (🔍) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



## 2 ▲▼で「プリント枚数設定」を選び、OKボタンを押す

- ▲▼でプリント枚数 (9枚まで) を設定し、OKボタンを押します。



## 3 「用紙設定」を選び、OKボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OKボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、「プリンターの設定」を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



## 4 「プリント実行」を選び、OKボタンを押す

- プリントが始まります。



## 複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU（メニュー）ボタンを押す



- 2 マルチセレクトの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OK ボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プrintメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、OK ボタンを押す



## プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨️ とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を 0 にします。
- ズームレバーを T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したら OK ボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。



## 全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。



# パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)

## ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iは、画像や動画の取り込み、閲覧、編集ができる無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>

最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

## パソコンに画像を取り込む

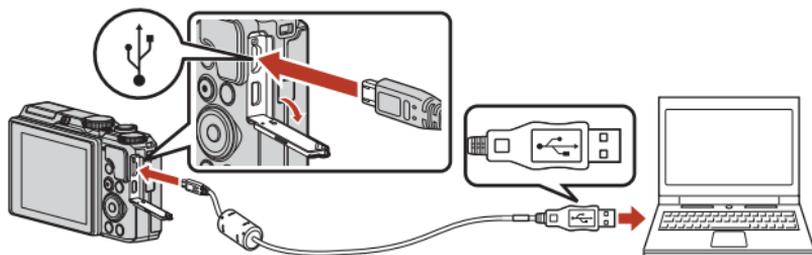
### 1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにメモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。

カメラの電源が自動的にONになります。

内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにメモリーカードを入れずにパソコンに接続します。



### ✓ パソコン接続時のご注意

パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器はパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。



起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7をお使いの場合**

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 [画像とビデオのインポート]の[プログラムの変更]をクリックすると表示される画面で、Nikon Transfer 2を選んで、[OK]をクリックする



- 2 Nikon Transfer 2アイコンをダブルクリックする

- **Windows10またはWindows 8.1をお使いの場合**

右のダイアログが表示されたときは、ダイアログをクリックし、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2] をクリックします。



- **OS XまたはmacOSをお使いの場合**

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、Mac付属のアプリケーション [イメージキャプチャ] を起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

## ✔ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

## 📎 ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。



## 2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始] をクリックする



- 画像の取り込みが始まり、完了すると ViewNX-i が起動して取り込んだ画像が表示されます。

## 3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源を OFF にしてから、USB ケーブルを抜きます。



# メニューを使う

メニューの操作方法 .....	112
メニュー項目一覧 .....	115
撮影メニュー（撮影モード共通） .....	118
撮影メニュー（P、S、A、Mモード） .....	120
動画メニュー .....	130
再生メニュー .....	138
通信メニュー .....	143
セットアップメニュー .....	145



# メニューの操作方法

MENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

-  撮影メニュー ※1、2
-  動画メニュー ※1
- MODE 再生モードメニュー（撮影日一覧モード） ※3
-  再生メニュー ※3
-  通信メニュー
-  セットアップメニュー

※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

※3 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。

## 1 MENU（メニュー）ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



## 2 マルチセレクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

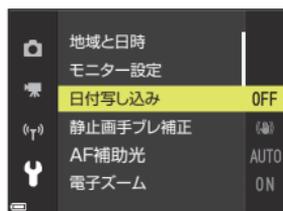
## 3 メニューアイコンを選び、OKボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。



## 4 メニュー項目を選び、OK ボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。



## 5 設定内容を選び、OK ボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンまたは (P) ボタンを押してください。



 **メニュー表示中のコマンドダイヤルまたはマルチセレクターの操作について**  
メニューまたは設定項目を表示中にコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回しても項目を選べます。



# 画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



## 1 マルチセクターの◀ ▶または回転で画像を選ぶ

- ズームレバー (□2) をT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- [画像回転] の画像選択では、1画像しか選べません。  
→ 手順3へ



## 2 ▲▼でON/OFFを設定する

- ON にすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



## 3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。



# メニュー項目一覧

## 撮影メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン

## 撮影モード共通

項目	初期設定	
画質	[NORMAL]	118
画像サイズ	20M [5184×3888]	119

## P、S、A、Mモード

項目	初期設定	
ホワイトバランス	[オート]	120
測光方式	[マルチパターン]	122
連写	[単写]	123
ISO感度設定	[オート]	125
AFエリア選択	[ターゲットファインドAF]	126
AFモード	[プリAF]	129
Mモード露出反映表示	[する]	129

## 動画メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → OK ボタン

項目	初期設定	
動画設定	1080  [1080/30p] または 1080  [1080/25p]	130
AFエリア選択	[顔認識オート]	134
AFモード	[シングルAF]	135
動画手ブレ補正	[する (ハイブリッド)]	136



項目	初期設定	📖
風切り音低減	[しない]	137
フレームレート設定	—	137

## 再生メニュー

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン

項目	📖
送信画像の指定 ※ <sup>1</sup>	138
簡単レタッチ ※ <sup>2</sup>	82
D-ライティング ※ <sup>2</sup>	82
赤目補正 ※ <sup>2</sup>	83
メイクアップ効果 ※ <sup>2</sup>	83
スライドショー	139
プロテクト設定 ※ <sup>1</sup>	140
画像回転 ※ <sup>1</sup>	140
スモールピクチャー ※ <sup>2</sup>	85
画像コピー ※ <sup>1</sup>	141
グループ表示設定	142

※<sup>1</sup> 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(📖114)

※<sup>2</sup> 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

## 通信メニュー

MENU ボタンを押す → 📶メニューアイコン → 📶ボタン

項目	📖
機内モード	143
スマートフォンと接続	143



項目	
撮影時画像送信	143
Wi-Fi	143
Bluetooth	143
設定の初期化	143

## セットアップメニュー

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → ボタン

項目	
地域と日時	145
モニター設定	147
日付写し込み	149
静止画手ブレ補正	150
AF補助光	151
電子ズーム	151
操作音	152
オートパワーオフ	152
カードの初期化/メモリーの初期化	153
言語/Language	153
画像コメント	154
著作権情報	155
位置情報	156
パソコン接続充電	157
設定クリアー	158
認証マークの表示	158
バージョン情報	158



## 撮影メニュー（撮影モード共通）

### 画質

撮影画面にする※ → MENUボタン → 画質 → OKボタン

※ ショートムービーショーモード以外の撮影モードで設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（シーンモードの[タイムラプス動画]、[スーパーラプス動画]、[かんたんパノラマ]を除く）。

記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目	内容
FINE FINE	[NORMAL] よりも精細な画質になります。 圧縮率：約1/4
NORM NORMAL (初期設定)	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率：約1/8

#### 画質についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□73）。

#### 記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます（□17）。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。



## 画像サイズ

撮影画面にする※ → MENUボタン → 画像サイズ →  ボタン

※ ショートムービーショーモード以外の撮影モードで設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（シーンモードの [タイムラプス動画]、[スーパーラプス動画]、[かんたんパノラマ] を除く）。

記録する画像の大きさ（記録画素数）を設定します。

画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	アスペクト比（横：縦）
 5184×3888（初期設定）	4:3
 3648×2736	4:3
 2272×1704	4:3
 1600×1200	4:3
 640×480	4:3
 5184×2920	16:9
 3888×3888	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例： 5184×3888：約20メガピクセル=5184×3888ピクセル

### 画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。

プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

### 画像サイズについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□73）。



## 撮影メニュー（P、S、A、Mモード）

- ・ [画質]、[画像サイズ] については、「画質」（□□118）、「画像サイズ」（□□119）をご覧ください。

## ホワイトバランス（色合いの調整）

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → ホワイトバランス → ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマ ニュアル	[オート] や [電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います (□□121)。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

### ホワイトバランスについてのご注意

- ・ [オート]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを閉じてください (□□19)。
- ・ この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□73)。



## プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

**1** 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

**2** マルチセレクターの▲▼で[プリセットマニュアル]を選び、**OK**ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。



**3** [新規設定]を選ぶ

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定]を選んで**OK**ボタンを押します。



**4** 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK**ボタンを押して測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。



測定窓

### ✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス]を[オート]または[フラッシュ]に設定してください。



## 測光方式

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → 測光方式 → ボタン

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。  
カメラが測光する方式を設定します。

項目	内容
 <b>マルチパターン (初期設定)</b>	画面の広い領域を測光します。 通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
 <b>中央部重点</b>	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。 ピントと露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック (  )70) をお使いください。

### 測光方式についてのご注意

- 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって [中央部重点] またはスポット測光 (画面中央部で測光) になります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります ()73)。

### 撮影画面の表示について

[中央部重点] に設定すると、測光範囲のガイド ()4) が表示されます (電子ズーム使用時を除く)。



## 連写

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → 連写 →  ボタン

項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none"><li>約 7 コマ / 秒の速度で約 7 コマ連写できます (画質 [NORMAL]、画像サイズ  [5184×3888] 時)。</li></ul>
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none"><li>約 2.2 コマ / 秒の速度で約 15 コマ連写できます (画質 [NORMAL]、画像サイズ  [5184×3888] 時)。さらにシャッターボタンの全押しを続けると速度が低下します。</li></ul>
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します (  124)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 <ul style="list-style-type: none"><li>約 15 コマ / 秒の速度で 25 コマ (先取り撮影の最大 5 コマを含む) 連写できます。</li><li>画質は [NORMAL]、画像サイズは  (1280×960 ピクセル) に固定されます。</li></ul>
 120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none"><li>約 120 コマ / 秒の速度で 50 コマ連写できます。</li><li>画質は [NORMAL]、画像サイズは  [640×480] に固定されます。</li></ul>
 60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none"><li>約 60 コマ / 秒の速度で 25 コマ連写できます。</li><li>画質は [NORMAL]、画像サイズは  (1280×960 ピクセル) に固定されます。</li></ul>

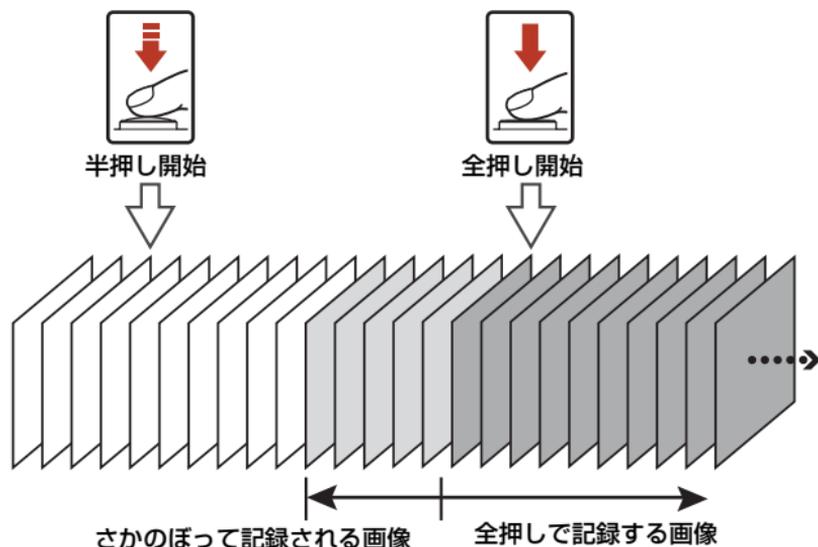


## ✓ 連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画質や画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (P73)。

## ✍ 先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン (☞) が緑色に変わります。



## ISO感度設定

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → ISO感度設定 → OKボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート(初期設定)	ISO 80～1600の範囲で自動設定します。
ISO AUTO 感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 80-400]、[ISO 80-800] から選べます。
80、100、200、400、800、1600、3200	ISO感度を選んだ値に固定します。

### ✓ ISO感度設定についてのご注意

- M (マニュアル露出) モードのときに [オート]、[ISO 80-400]、[ISO 80-800] に設定すると、ISO感度はISO 80に固定されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□73)。

### ✎ 撮影画面のISO感度表示について

- [オート] 時は、感度が上がったときにISOマークが表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。

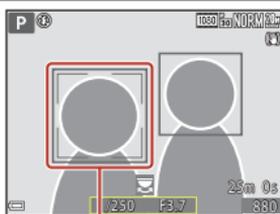


## AFエリア選択

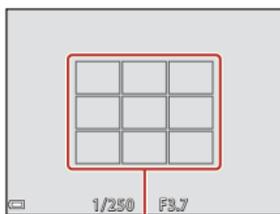
撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → AFエリア選択 → OKボタン

静止画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

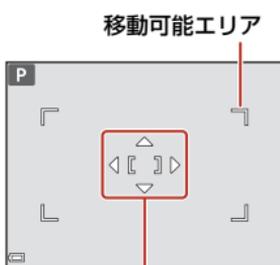
項目	内容
<p>👁️ 顔認識オート</p>	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」(☐68)</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p>
<p>[☐] マニュアル</p>	<p>マルチセレクターの▲▼◀▶で、AFエリアを、ピントを合わせたい位置に移動できます。マルチセレクターでフラッシュモードなどを設定したいときは、OKボタンを押します。AFエリアの移動に戻るには、もう一度OKボタンを押します。</p>



AF エリア

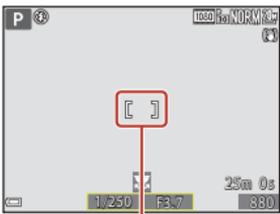
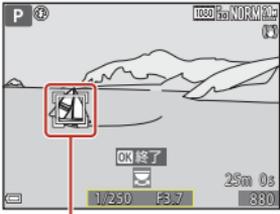
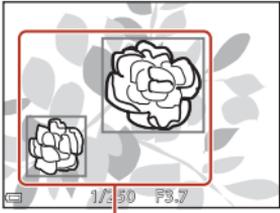


AF エリア



AF エリア



項目	内容
<p>[.] 中央</p>	<p>画面中央の被写体にピントが合います。</p>  <p>AF エリア</p>
<p>☉ ターゲット追尾</p>	<p>動く被写体の撮影に使用します。ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(□128)</p>  <p>AF エリア</p>
<p>ターゲット ファインドAF (初期設定)</p>	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」(□67)</p>  <p>AF エリア</p>

### ✓ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□73)。

### 📎 動画のAFエリア選択について

動画撮影時のAFエリア選択は、動画メニューの[AFエリア選択] (□134) で設定します。



## ターゲット追尾の使い方

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → AFエリア選択 → OK ボタン → 追尾ターゲット → OK ボタン → MENU ボタン

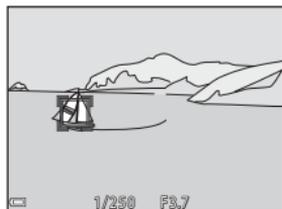
### 1 被写体を登録する

- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、OK ボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、OK ボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



### 2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが合います。



### ✓ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。



## AFモード

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → AFモード →  ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししなくても、常にピントを合わせます。常に動作音がします。
PRE-AF プリAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししなくても、被写体の動きを検知したときや構図が大きく変わったときに、ピントを合わせます。

### AFモードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□73)。

### ショートムービーショーモードまたは動画のAFモードについて

ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (□□135) で設定します。

## Mモード露出反映表示

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENU ボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → Mモード露出反映表示 →  ボタン

M (マニュアル露出) モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。

項目	内容
する (初期設定)	撮影画面に明るさを反映します。
しない	撮影画面に明るさを反映しません。



# 動画メニュー

## 動画設定

撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン → 動画設定  
→ OKボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（□□131）があります。選べる項目は、[フレームレート設定]によって異なります（□□137）。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（□□184）。[動画設定]が $\frac{2160}{30}$  [2160/30p]（4K UHD）または $\frac{2160}{25}$  [2160/25p]（4K UHD）の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。

## 通常速度の動画

項目（画像サイズ/フレームレート、記録方式）	画像サイズ	アスペクト比（横：縦）	最長記録時間
$\frac{2160}{30}$ 2160/30p $\frac{2160}{25}$ 2160/25p (4K UHD)	3840×2160	16:9	約7分 約8分
$\frac{1080}{30}$ 1080/30p $\frac{1080}{25}$ 1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9	約26分
$\frac{1080}{30}$ 1080/60p $\frac{1080}{50}$ 1080/50p	1920×1080	16:9	約13分
$\frac{720}{30}$ 720/30p $\frac{720}{25}$ 720/25p	1280×720	16:9	約29分
$\frac{480}{30}$ 480/30p $\frac{480}{25}$ 480/25p	640×480	4:3	約29分

### ✓ 動画設定についてのご注意

シーンモードのタイムラプス動画、またはスーパーラプス動画のときは、 $\frac{1080}{30}$  [1080/30p] または、 $\frac{1080}{25}$  [1080/25p] に固定されます。



## HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法 (HS動画)」(□133)

項目	画像サイズ アスペクト比 (横:縦)	内容
 HS 480/4 倍	640×480 4:3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間 <sup>※</sup> : 15 秒 (再生時間: 1 分)
 HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間 <sup>※</sup> : 2 分 (再生時間: 1 分)

※ 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができません。

表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

### HS動画についてのご注意

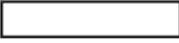
- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。



 スローモーション再生と早送り再生について

通常速度で撮影した場合：

撮影時間  10秒

再生時間  10秒

 [HS 480/4 倍] または  [HS 480/4 倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。

再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。

撮影時間  10秒

再生時間  40秒

スローモーション再生

 [HS 1080/0.5 倍] または  [HS 1080/0.5 倍] で撮影した場合：

通常速度の1/2のスピードで撮影します。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。

撮影時間  10秒

再生時間  5秒

早送り再生



## スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）

撮影画面にする → MENU ボタン → 動画メニューアイコン → 動画設定  
→ OK ボタン

HS（ハイスピード）動画で撮影すると、通常再生の1/4の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

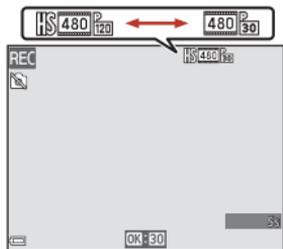
### 1 マルチセレクターの▲▼でHS動画（□□131）を選び、OK ボタンを押す

- 設定したらMENU ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



### 2 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する

- 撮影中にOK ボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
- HS動画の最長撮影時間（□□131）が経過すると、自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。



### 3 ● (動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する



## AFエリア選択

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン → AFエリア選択  
→ [OK] ボタン

スーパーラプス動画、ショートムービーショーモードまたは動画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
[e] 顔認識オート (初期設定)	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 → 「顔認識撮影について」(□□68)
[▪] 中央	画面中央の被写体にピントが合います。

### ✓ 動画撮影時のAFエリア選択についてのご注意

以下の場合、[顔認識オート] に設定していても、[AFエリア選択] は中央になります。

- 動画メニューの [AFモード] が [シングルAF] で、● (設定) ボタンを押す前に顔認識していないとき
- [動画設定] をHS動画に設定したとき



## AFモード

撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン → AFモード  
→  ボタン

スーパーラプス動画、ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

### AFモードについてのご注意

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります。



## 動画手ブレ補正

撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン → 動画手ブレ補正 → ONボタン

ショートムービーショーモードまたは動画撮影時の手ブレ補正を設定します。  
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 * する(ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理で電子的に補正します。画角(写る範囲)は狭くなります。
 する	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

### 動画手ブレ補正についてのご注意

- [動画設定] を  [2160/30p] (4K UHD) または  [2160/25p] (4K UHD)、HS動画に設定したときは、[する(ハイブリッド)] は選べません。
- [スーパーラプス動画] のときは、[する(ハイブリッド)] に固定されます。
- 撮影状況によっては、手ブレを完全に補正できないことがあります。



## 風切り音低減

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン →  
風切り音低減 → ON ボタン

項目	内容
 する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなります。
しない (初期設定)	風切り音を低減しません。

### 風切り音低減についてのご注意

以下の場合、[しない] に固定されます。

- ・ スーパーラプス動画のとき
- ・ [動画設定] をHS動画に設定したとき

## フレームレート設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 設定メニューアイコン →  
フレームレート設定 → ON ボタン

タイムラプス動画、スーパーラプス動画、ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のフレームレートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、[動画設定] (130) で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。



## 再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（☞81）をご覧ください。

### 送信画像の指定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → 送信画像の指定 → ⓧボタン

カメラ内の静止画を選んで、SnapBridgeアプリで無線接続したスマートフォンに送信します。

画像選択の画面（☞114）で、送信画像の指定または解除をします。

- 取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeアプリの「画像取り込み」をお使いください。
- 動画は指定できません。動画をスマートフォンに取り込むには、SnapBridgeアプリの「画像取り込み」をお使いください。
- セットアップメニューの「設定クリアー」（☞158）または通信メニューの「設定の初期化」（☞143）を実行すると、送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。



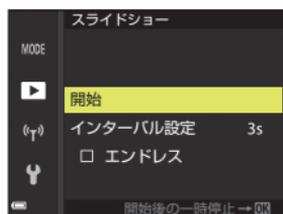
# スライドショー

▶ ボタンを押す（再生モード） → MENU ボタン → スライドショー  
→ OK ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

## 1 マルチセクターの ▲▼ で [開始] を選 び、OK ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- [開始] を選ぶ前に [インターバル設定] を選び OK ボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで OK ボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



## 2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、■を選びOK ボタンを押します。再開するには、▶を選びOK ボタンを押します。



## 再生中の操作

- マルチセクターの◀▶でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、OK ボタンを押します。



## プロテクト設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → プロテクト設定  
→ OK ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面 (□114) で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。  
メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化 (フォーマット、□153) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

## 画像回転

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → 画像回転 → OK ボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き (縦横位置) を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方に180度まで回転できます。

画像選択の画面 (□114) で回転する画像を選ぶと、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクトターの◀▶または回転で、90度回転します。



反時計方向に  
90度回転



時計方向に  
90度回転

OK ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。



# 画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン → 画像コピー → OK ボタン

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリーカードへコピーできます。

- 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると「撮影画像がありません。」と表示されますが、MENU ボタンを押すと「画像コピー」を選べます。

## 1 マルチセクターの ▲▼ でコピーする方向を選び、OK ボタンを押す



## 2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- 「選択画像コピー」を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます（□114）。
- 「カード→カメラ」を選んだときは、全画像コピーはできません。



### ✓ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

### 📎 グループ画像コピーについて

- 「選択画像コピー」で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内の画像を表示しているときにMENU ボタンを押すと、「カード→カメラ」方向のみコピーできます。「表示グループコピー」を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。



## グループ表示設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン → グループ表示設定 →  
ⓧ ボタン

グループ画像 (□79) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
 1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で  が表示されます。
 代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべてのグループ画像に反映され、電源をOFFにしても記憶されます。



# 通信メニュー

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン →  ボタン

カメラとスマートフォンを接続するため無線ネットワーク情報を設定します。

- 無線接続中は設定を変更できない項目があります。変更するときは、無線接続を一時停止してください。

項目	内容	
機内モード	[する] にすると、すべての無線通信をOFFにします。	
スマートフォンと接続	SnapBridgeアプリを使用して、カメラとスマートフォンを接続するときに選びます (□□25)。	
撮影時画像送信	画像をスマートフォンへ自動送信する条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>取り込む画像サイズは 2M サイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridge アプリの [画像取り込み] をお使いください。</li></ul>	
Wi-Fi	接続設定	SSID*: SSIDを変更できます。英数字の1~32桁で設定します。 認証/暗号: スマートフォンと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN] のときは、暗号化しません。 パスワード*: パスワードを設定します。英数字の8~36桁で設定します。 チャンネル: 無線接続で使用するチャンネルを設定します。 サブネットマスク: 通常は初期設定 ([255.255.255.0]) のままお使いください。 DHCPサーバー IPアドレス: 通常は初期設定 ([192.168.0.10]) のままお使いください。
	現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
	通信機能	[無効] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
	ペアリング済み機器	接続するスマートフォンの切り換えや、接続済みスマートフォンの削除をします。 このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録できます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。
	電源オフ中の通信	カメラが電源OFFのときや待機状態 (□□19) のときに、スマートフォンと通信をするかどうかを設定します。
	設定の初期化	通信メニューのすべての設定を初期化します。

\* 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□□144) をご覧ください。



## ☑ 内蔵メモリーについてのご注意

- カメラの内蔵メモリーに保存されている画像は、スマートフォンに送信できません。内蔵メモリーの画像を送信するには、再生メニュー [画像コピー] で画像をカメラ内のメモリーカードへコピーしてください。
- カメラにメモリーカードが入っていないときは、スマートフォンからのリモート撮影はできません。

## 文字入力画面の操作方法

### [SSID]、[パスワード]、[画像コメント]、[著作権情報] の文字入力

- マルチセクターの▲▼◀▶でキーボードの英数字を選択します。OK ボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでOK ボタンを押します。
- 1文字削除するには、🗑️ ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOK ボタンを押します。



### [チャンネル]、[サブネットマスク]、[DHCPサーバー IPアドレス] の文字入力

- マルチセクターの▲▼で数値を設定します。  
▶またはOK ボタンを押すと、次の桁に移動します。◀を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、最後の桁を選んでOK ボタンを押します。



# セットアップメニュー

## 地域と日時

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 地域と日時 → OK ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
スマートフォンと同期	[する] を選ぶと、日時設定をスマートフォンと同期します。SnapBridgeアプリの日時同期機能を有効にしてください。
日時の設定	[スマートフォンと同期] を [しない] にした場合に日時を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>項目を選ぶ：マルチセクターの◀▶を押します。</li><li>日時を合わせる：▲▼を押します。マルチセクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。</li><li>設定を完了する：[分]を選び、OK ボタンまたは▶を押します。</li></ul> 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	[スマートフォンと同期] を [しない] にした場合にタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>自宅（）を設定してから、訪問先（）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。</li></ul>

## タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、OK ボタンを押す



## 2 [自宅] または [訪問先] を選び、 ボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

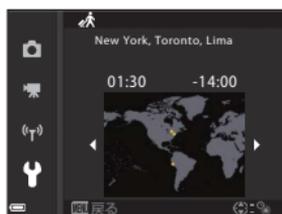


## 3 を押す



## 4 でタイムゾーンを選ぶ

-  を押すと夏時間 (サマータイム) になり、 が表示されます。解除するには、 を押します。
-  ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。



# モニター設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → モニター設定 → OK ボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
ヘルプの表示	撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定：[する]</li> </ul>
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定：[する]</li> </ul>
画面の明るさ	明るさを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定：[3]</li> </ul>

## [モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると [情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		



	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>[情報オート] の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	 <p>[情報オート] と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>[情報オート] の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>[情報オート] と同じです。</p>



# 日付写し込み

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン → 日付写し込み → OK ボタン

撮影時に日付と時刻を画像に写し込んで記録します。



項目	内容
<b>DATE</b> 年・月・日	日付を写し込みます。
<b>DATE</b> 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

## ✓ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日付と時刻を画像から消したり、撮影した後で日付と時刻を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付と時刻を写し込みません。
  - シーンモードが [スポーツ]、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[逆光] ([HDR] が [する] 時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 時)、[比較明合成]
  - クリエイティブモード
  - [連写] ([□123] 設定時)
  - 動画
  - 動画撮影中に記録した静止画
  - 動画再生中に切り出した静止画
- 画像サイズが小さいと、日付と時刻が読みにくいことがあります。

 日付と時刻を写し込んでいない画像に撮影日時を入れてプリントするには画像をパソコンに取り込んで、ソフトウェア「ViewNX-i」([□108]) を使うと、日付と時刻を入れてプリントできます。



## 静止画手ブレ補正

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 静止画手ブレ補正  
→ ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 <b>する (ハイブリッド)</b>	レンズシフト方式で光学的に補正します。以下の条件では、画像処理で電子的に補正を加えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・フラッシュ：発光しない</li><li>・シャッタースピード：1/30 秒（広角側）、1/250 秒（望遠側）よりも低速</li><li>・セルフタイマー：OFF</li><li>・[連写] の設定：[単写]</li><li>・ISO 感度：ISO 200 以下</li></ul> 画像の記録時間は通常より長くなる場合があります。
 <b>する (初期設定)</b>	レンズシフト方式で補正します。
<b>しない</b>	補正をしません。

### 静止画手ブレ補正についてのご注意

- ・カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、画面の画像が安定してから撮影してください。
- ・撮影直後に画面の画像がずれて見えることがあります。
- ・撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ・シャッタースピードが極端に遅いときは、[する (ハイブリッド)] に設定しても画像処理による補正はできません。



## AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → AF補助光 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約5.0 m、望遠側で約4.5 mです。 • AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

## 電子ズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 電子ズーム → ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
クロップ	画質が電子ズームで劣化しない範囲にズーム倍率を制限します (□65)。 • 画像サイズが  [5184 × 3888]、 [5184 × 2920]、 [3888 × 3888] のときは、電子ズームが使えません。 • 動画撮影時は、[する] と同じ動作になります。
しない	電子ズームは使えません。

### 電子ズームについてのご注意

- 以下の撮影モードでは、電子ズームを使えません。
  - シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR] 使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[ベストフェイス]
  - クリエイティブモード
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません (□74)。



## 操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 操作音 → ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 • シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 動画撮影時、シーンモードの [かんたんパノラマ]、[ペット] では鳴りません。

## オートパワーオフ

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → オートパワーオフ → ボタン

カメラが待機状態 (📷19) になるまでの時間を設定します。

[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

### オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- [ペット自動シャッター] で撮影中：5分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター] で撮影中：5分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- メニュー表示中：3分 ([30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- HDMIケーブル接続中：30分
- [スマートフォンと接続] で接続待機中：30分



## カード/メモリーの初期化（フォーマット）

MENU ボタンを押す → ㊄メニューアイコン →  
カードの初期化/メモリーの初期化 → OK ボタン

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化（フォーマット）します。  
初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。  
削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

- 無線接続中は選択できないことがあります。

### メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの [カードの初期化] を選び OK ボタンを押します。

### 内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの [メモリーの初期化] を選び OK ボタンを押します。

表示された画面で [初期化する] を選び OK ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。

---

## 言語/Language

MENU ボタンを押す → ㊄メニューアイコン → 言語/Language → OK ボタン

画面に表示する言語を設定します。



## 画像コメント

MENU ボタンを押す → 🗨️メニューアイコン → 画像コメント → 🗨️ボタン

あらかじめ登録したコメントを、撮影する画像に添付できます。  
添付されたコメントは、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。  
添付されたコメントは、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容
コメント添付	<p>[コメント入力] で登録したコメントを画像に添付します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [コメント添付] を選んで▶ を押し、チェックボックスをオン [✓] にします。🗨️ ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像にコメントが添付されます。</li></ul>
コメント入力	<p>36文字までの英数字でコメントを登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [コメント入力] を選んで▶ を押しと、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(📖144) をご覧ください。</li></ul>



### 画像コメントの表示について

画像をカメラで再生しても画像コメントは表示されません。



## 著作権情報

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 著作権情報 → OK ボタン

あらかじめ登録した著作権情報を、撮影する画像に添付できます。添付された著作権情報は、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。添付された著作権情報は、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容
著作権情報添付	<p>[<b>撮影者入力</b>] および、[<b>著作権者名入力</b>] で登録した著作権情報を画像に添付します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [<b>著作権情報添付</b>] を選んで  を押し、チェックボックスをオン [] にします。 ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像に著作権情報が添付されます。</li></ul>
撮影者入力	<p>36文字までの英数字で撮影者名を登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [<b>撮影者入力</b>] を選んで  を押しと、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□144) をご覧ください。</li></ul>
著作権者名入力	<p>54文字までの英数字で著作権者名を登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [<b>著作権者名入力</b>] を選んで  を押しと、入力画面が表示されます。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□144) をご覧ください。</li></ul>

### 著作権情報についてのご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[**著作権情報添付**] の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [**著作権情報**] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

### 著作権情報の表示について

- 画像をカメラで再生しても著作権情報は表示されません。
- SnapBridgeアプリでは、[**撮影者入力**] と [**著作権者名入力**] の両方を入力した場合、著作権者名のみが画像に写し込まれます。



## 位置情報

MENU ボタンを押す → ☰メニューアイコン → 位置情報 → OK ボタン

撮影画像に位置情報を記録するかどうか設定します。

項目	内容
スマートフォンから取得	[する] を選ぶと撮影画像にスマートフォンの位置情報が記録されます。SnapBridge アプリの位置情報機能を有効にしてください。
情報表示	取得した位置情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>表示中は更新されません。更新するには、[情報表示] をやり直してください。</li></ul>



# パソコン接続充電

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → パソコン接続充電 → ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (📄102)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

## パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約 4 時間です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

## 充電ランプが緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。



## 設定クリアー

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 設定クリアー → ボタン

【はい】を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 通信メニューの設定も初期化します。
- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

### ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

## 認証マークの表示

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → 認証マークの表示 → ボタン

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

## バージョン情報

MENU ボタンを押す → メニューアイコン → バージョン情報 → ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

- 無線接続中は選択できないことがあります。



# 資料

無線通信機能についてのご注意 .....	160
取り扱い上のご注意 .....	162
カメラについて .....	162
電池について .....	163
本体充電 AC アダプターについて .....	164
メモリーカードについて .....	165
お手入れ方法 .....	166
クリーニングについて .....	166
保管について .....	166
警告メッセージ .....	167
故障かな？と思ったら .....	170
記録データのファイル名 .....	179
別売アクセサリ .....	180
主な仕様 .....	181
使用できるメモリーカード .....	184
索引 .....	187
修理サービスのご案内 .....	191
ニコンプラザについて .....	192



## 無線通信機能についてのご注意

### ● 電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

### ● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

### ● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（☞117）の【設定クリアー】で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。



## ● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国法の対象です。EAR の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

## ● Wi-Fi（無線LAN）機能/Bluetooth機能のご注意



- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
    - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
  - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

## ● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi および Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。



## 取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~□ix)をお守りください。

### カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水にぬらさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 画像モニターについて

・ 画像モニター（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

・ 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。

・ 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。



## 電池について

### ● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店または二コサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

### ● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。  
このカメラを本体充電ACアダプター またはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

### ● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

### ● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

### ● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。



### ● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

### ● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただまにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

### ● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

### ● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

## 本体充電ACアダプターについて

- 本体充電ACアダプター EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。



## メモリーカードについて

### ● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません（☐184）。
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

### ● 初期化について

- ・メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。  
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。  
初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・メモリーカードを入れた後にカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで  ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
  - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す



# お手入れ方法

## クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

### レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

### 画像モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

### カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

**ご注意：**カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

## 保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」(P164)をお守りください。



## 警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	—
カメラが高温です。 電源をOFFにします。		
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>動作確認済みのカードを使ってください。</li> <li>カードの端子部分が汚れていないか確認してください。</li> <li>カードが正しく挿入されているか確認してください。</li> </ul>	10
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、 <b>【いいえ】</b> を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 <b>【はい】</b> を選んで <b>ⓧ</b> ボタンを押すと、メモリーカードを初期化できます。	10、165
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	10、21
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	10、153
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	10、153
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	21
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	81、175
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	90、184



表示	考えられる原因や対処法	📖
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。</li> <li>内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。</li> </ul>	10 112
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。このカメラでは再生できません。	—
このデータは再生できません。	ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドショーなどで表示できる画像がありません。</li> <li>削除画像選択画面に表示できる画像がありません。</li> </ul>	—
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	140
フラッシュを上げてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーンモードの [おまかせシーン] 時はフラッシュを閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光しません。</li> <li>[夜景ポートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] 時は、フラッシュを閉じたままでは撮影できません。</li> </ul>	36 37、39
カードが入っていません。	タイムラプス動画またはショートムービーショーを撮影するときは、メモリーカードを入れてください。	—
アクセスありませんでした。	スマートフォン/タブレットからの通信信号を受信できません。無線接続の操作をやり直してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NFC対応のスマートフォン/タブレットをカメラにタッチする</li> <li>通信メニューの [スマートフォンと接続] を選ぶ</li> </ul>	25 112
電源を入れなおしてください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	—
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	104
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	170



表示	考えられる原因や対処法	
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、 <b>【継続】</b> を選んで <b>OK</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 <b>【キャンセル】</b> を選び <b>OK</b> ボタンを押して、プリントを中止してください。*	—

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。



## 故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

### 電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。</li><li>操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 AC アダプター使用時は付け直してください。<ul style="list-style-type: none"><li>記録中であったデータは保存されません。</li><li>保存済みのデータは電池や AC アダプターの取り外しでは失われません。</li></ul></li></ul>	—
電源をONにできない	<ul style="list-style-type: none"><li>電池残量がありません。</li><li>電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッチを押してください。</li></ul>	10、11、163 —
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>オートパワーオフ機能が働きました。</li><li>低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。</li><li>カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。</li></ul>	19 163 —
画像モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源が入っていません。</li><li>電池残量がありません。</li><li>オートパワーオフ機能が働きました。</li><li>フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。充電完了までお待ちください。</li><li>カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。</li><li>タイムラプス動画撮影中です。</li><li>カメラとスマートフォンを無線接続して、カメラをリモート操作中です。</li></ul>	14 17 19 57 — — —
カメラの温度が高くなる	動画撮影や画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プラグの接続状態を確認してください。</li> <li>• パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。</li> <li>- カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。</li> <li>- カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。</li> <li>- パソコンが休止状態 (スリープ状態) になると、充電が中止されることがあります。</li> <li>- パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。</li> </ul> </li> </ul>	11 112、117、157 — 14、171 — —
画像モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 周囲が明るすぎます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 暗い場所へ移動してください。</li> </ul> </li> <li>• 画面の明るさを調節してください。</li> </ul>	— 112、117、147
画面で📷が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で📷が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2016/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。</li> </ul>	4、112、117、145
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。</li> </ul>	
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	4、112、117、147
[日付写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	4、112、117、145
[日付写し込み] を有効にしたのに日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日付を写し込めない撮影モードになっています。</li> <li>• 日付写し込みが制限される他の機能の設定がされています。</li> <li>• 動画には写し込みできません。</li> </ul>	4、112、117、149 73 —
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	—
設定内容が初期状態に戻ってしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラの時計や一部の設定の保持には、内蔵の時計用電池が使われています。時計用電池はカメラに電池を入れるか AC アダプター (別売) を接続すると約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出しても数日間動作します。</li> </ul>	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラから音がする	[AFモード] の設定や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	33、112、115、129、135
メニューが選べない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。</li> <li>無線接続中は、選べないメニューがあります。カメラの電源をいったん OFF にして、無線接続を解除してください。</li> </ul>	73 —

## 撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	102
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは ● (●) ボタンを押してください。</li> <li>メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。</li> <li>シーンモードが [夜景ポートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] のときは、フラッシュをポップアップさせてください。</li> <li>フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充電中です。</li> <li>カメラとスマートデバイスを無線接続して、カメラをリモート操作中です。</li> <li>電池残量がありません。</li> </ul>	2、20 113 35、57 57 30 10、11、163
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>被写体との距離が近すぎます。シーンモードの [おまかせシーン]、[クローズアップ]、またはマクロモードでの撮影をお試しください。</li> <li>オートフォーカスが苦手な被写体を撮影していません。</li> <li>セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。</li> <li>電源を入れ直してください。</li> </ul>	35、36、38、61 69 112、117、151 —
撮影時の画面に色の付いた縞模様が発生する	同じパターンを繰り返す被写体 (窓のブラインドなど) に色の付いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがありますが、故障ではありません。記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[高速連写 120 fps] と [HS 480/4 倍] では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを使ってください。</li> <li>ISO感度を上げて撮影してください。</li> <li>静止画を撮影するときは「静止画手ブレ補正」を、動画を撮影するときは「動画手ブレ補正」を使ってください。</li> <li>三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。</li> </ul>	19、57 112、115、125 112、115、117、136、150 60
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が入り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じて、フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	57
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュが発光しない撮影モードになっています。</li> <li>フラッシュが制限される他の機能が設定されています。</li> </ul>	71 73
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セットアップメニュー「電子ズーム」が「しない」または「クロップ」になっています。</li> <li>電子ズーム倍率は、「動画設定」が 2.0x [2160/30p] (4K UHD) または 2.0x [2160/25p] (4K UHD) の動画撮影を開始すると、約2倍までに制限されます。</li> <li>撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。</li> </ul>	112、117、151 130、151 74、112、117、151
「画像サイズ」が選べない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「画像サイズ」が制限される他の機能が設定されています。</li> <li>シーンモードが「かんたんパノラマ」のときは、画像サイズが固定されます。</li> </ul>	73 44
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー「操作音」の「シャッター音」が「なし」になっています。「あり」にしても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	47、117、152
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー「AF補助光」が「なし」になっています。「オート」に設定していても、AFエリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があります。	112、117、151
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	166
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	38、112、115、120
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを使ってください。</li> <li>低いISO感度にしてください。</li> </ul>	19、57 112、115、125



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュが指などでさえぎられています。</li> <li>被写体にフラッシュの光が届いていません。</li> <li>露出を補正してください。</li> <li>ISO 感度を上げてください。</li> </ul>	17 182 62、64 112、115、125 19、39、57
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	62、64
赤目以外の部分が補正された	<b>[夜景ポートレート]</b> 以外の撮影モードで、フラッシュモードを  (赤目軽減自動発光/赤目軽減発光) 以外にして撮影してください。	37、71
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。</li> <li>4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー <b>[メイクアップ効果]</b> の <b>[美肌]</b> をお試しください。</li> </ul>	42 83、112、116
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき</li> <li>フラッシュを  (赤目軽減自動発光 / 赤目軽減発光) にして撮影したとき</li> <li>以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>[夜景ポートレート]</b> の <b>[手持ち撮影]</b></li> <li>- <b>[夜景]</b> の <b>[手持ち撮影]</b></li> <li>- <b>[逆光]</b> の <b>[HDR]</b> が <b>[する]</b></li> <li>- <b>[かんたんパノラマ]</b></li> </ul> </li> <li>美肌機能で撮影したとき</li> <li>連写で撮影したとき</li> </ul>	— 58 37 37 39 43 42 123
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様(ゴースト)等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

## 再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。</li> <li>このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。</li> <li>パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。</li> </ul>	—



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動画は拡大表示できません。</li> <li>• このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。</li> <li>• 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。</li> </ul>	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。</li> <li>• メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。</li> <li>• このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。</li> <li>• 動画は、画像編集できません。</li> </ul>	44、81 — — —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—



## 外部機器関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
スマートフォンと無線接続できない※	<ul style="list-style-type: none"> <li>• はじめて無線接続するときは、「スマートフォンとの接続 (SnapBridge)」をご覧ください。</li> </ul>	23
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「接続がうまくいかないときは」もご覧ください。</li> </ul>	28
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 無線接続済みの場合、以下の操作をしてください。</li> </ul>	31
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラの電源を入れ直してください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- SnapBridge アプリを再起動してください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 一度接続を解除してから再度接続してください。</li> </ul>	31
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラの [通信メニュー] の設定を確認してください。</li> </ul>	143
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- [機内モード] を [しない] にしてください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- [Bluetooth] → [通信機能] を [有効] にしてください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラの接続先に、2 台以上のスマートフォンを登録した場合、カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [ペアリング済み機器] で、接続したいスマートフォンを選んでください。</li> </ul>	143
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SnapBridge アプリの接続先に 2 台以上のカメラを登録したときは、アプリ側で接続先を切り換えてください。</li> </ul>	-	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 十分に残量のある電池をお使いください。</li> </ul>	-	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。</li> </ul>	10	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• HDMI ケーブルまたは USB ケーブルを外してください。</li> </ul>	102	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• スマートフォンの Bluetooth、Wi-Fi および位置情報機能の設定を有効にしてください。</li> </ul>	-	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SnapBridge アプリの  タブ → [自動連携設定] → [自動連携] を ON にしてください。OFF の場合、[画像取り込み] および [リモート撮影] は使えませんが、画像の自動送信はできません。</li> </ul>	-	



こんなときは	考えられる原因や対処法	143 — — 143 10 — 31 31
SnapBridge アプリで無線接続中のスマートフォンに画像を送信できない※	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動送信するときは、以下の操作をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画] を [する] にしてください。</li> <li>- SnapBridge アプリの  タブ → [自動連携設定] → [自動連携] を ON にしてください。</li> <li>- SnapBridge アプリの  タブ → [自動連携設定] → [自動転送] を ON にしてください。</li> <li>- カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [電源オフ中の通信] が [しない] のときは、カメラの電源を ON にするか、[する] にしてください。</li> </ul> </li> <li>• カメラにメモリーカードを入れてください。内蔵メモリーに保存されている画像は送信できません。</li> <li>• カメラの操作中は、画像の送信機能が使えないことや、送信が停止することがあります。</li> <li>• カメラの状態によっては、画像の送信機能が使えないことや、送信が停止することがあります。</li> <li>• 「画像がうまく送信できないときは」もご覧ください。</li> </ul>	143 — — 143 10 — 31 31
SnapBridge アプリで無線接続中のスマートフォンからリモート撮影ができない※	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラにメモリーカードが入っていないときは、リモート撮影はできません。メモリーカードを入れてください。</li> <li>• カメラの操作中は、リモート撮影が使えないことがあります。</li> <li>• カメラの状態によっては、リモート撮影が使えないことがあります。</li> </ul>	30 — 31
SnapBridge アプリで、静止画をオリジナルサイズで送信できない※	カメラの [撮影時画像送信] および [送信画像の指定] では、取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。	—
接続中のスマートフォンやパソコンに、カメラ内の画像が表示されない	<p>カメラ内のメモリーカードに保存された画像などが1万個を超えると、それ以降に撮影された画像は、接続した機器に表示されないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メモリーカード内の画像を減らしてください。必要な画像はパソコンなどに保存してください。</li> </ul>	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。</li> <li>• メモリーカードに画像が記録されていません。</li> <li>• 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。</li> </ul>	— — 10



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをパソコンに接続しても、 <b>Nikon Transfer 2</b> が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラの電源が OFF になっています。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>USB ケーブルが正しく接続されていません。</li> <li>パソコンにカメラが正しく認識されていません。</li> <li><b>Nikon Transfer 2</b> が自動起動しない設定になっています。<b>Nikon Transfer 2</b> については <b>ViewNX-i</b> のヘルプをご覧ください。</li> </ul>	<p>—</p> <p>10、11、163</p> <p>102、108</p> <p>—</p> <p>—</p>
カメラをプリンターに接続しても、 <b>PictBridge</b> 画面が表示されない	<b>PictBridge</b> 対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー [ <b>パソコン接続充電</b> ] を [ <b>オート</b> ] に設定していると、 <b>PictBridge</b> 画面が表示されず、プリントできない場合があります。 [ <b>パソコン接続充電</b> ] を [ <b>しない</b> ] にしてプリンターに接続し直してください。	<p>112、117、157</p>
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーカードに画像が記録されていません。</li> <li>内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。</li> </ul>	<p>—</p> <p>10</p>
カメラ側で用紙設定ができない	<b>PictBridge</b> 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。</li> <li>自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。</li> </ul>	<p>—</p>

※ 「スマートフォンとの接続 (SnapBridge)」 (□□23)、および **SnapBridge** アプリのオンラインヘルプもあわせてご覧ください。



## 記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

①      ②      ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• DSCN：編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画</li><li>• SSCN：スモールピクチャー画像</li><li>• RSCN：トリミング画像</li><li>• FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画</li></ul>
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• .JPG：静止画</li><li>• .MP4：動画</li></ul>



## 別売アクセサリ

### 充電器

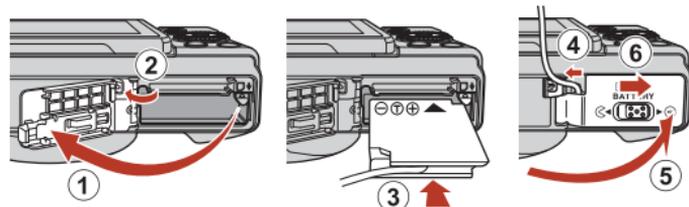
バッテリーチャージャー MH-65P<sup>※1</sup>

残量の少ない状態からの充電時間は、約2時間30分です。

### ACアダプター

ACアダプター EH-62F<sup>※2</sup>

<取り付け方>



ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてから電池室に入れてください。次に、電池/メモリーカードカバーを閉める前に、コードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）

<http://shop.nikon-image.com/>でもお求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。

アクセサリの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



# 主な仕様

## ニコン デジタルカメラCOOLPIX A900

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	2029万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数2114万画素
レンズ	光学35倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-151 mm (35mm判換算24-840 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.4-6.9
レンズ構成	11群13枚（EDレンズ4枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約3360 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~ ∞（広角側）、約 2.0 m ~ ∞（望遠側）</li><li>・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~ ∞（広角側）</li></ul>
AFエリア	顔認識オート、マニュアル（99点）、中央、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット（RGBW） 輝度調節機能付き（6段階） チルト方式
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約44 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MP4（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AACステレオ）



記録画素数 (画像サイズ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 20M [5184×3888]</li> <li>• 10M [3648×2736]</li> <li>• 4M [2272×1704]</li> <li>• 2M [1600×1200]</li> <li>• VGA [640×480]</li> <li>• 16:9 15M [5184×2920]</li> <li>• 1:1 [3888×3888]</li> </ul>
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO 80 ~ 1600</li> <li>• ISO 3200 (P、S、A、Mモード時に設定可能)</li> </ul>
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート (プログラムシフト可能)、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、露出補正 (±2段の範囲で1/3 段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1/2000 ~ 1 秒</li> <li>• 1/2000 ~ 8 秒 (S、A、Mモードで ISO 80、100、200 固定時)</li> <li>• 1/4000 秒 (高速連写時の最高速)</li> <li>• 25 秒 (シーンモード [比較明合成] の [星軌跡])</li> </ul>
絞り	電磁駆動による3枚羽根虹彩絞り
制御段数	7 (1/3 EVステップ) (広角側) (A、Mモード)
セルフタイマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10 秒、2 秒</li> <li>• 5 秒 (自分撮りタイマー)</li> </ul>
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~6.0 m (広角側) 約1.5~3.0 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子 (付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)



Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g (無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12 (リチウムイオン充電電池：付属) ×1個 ACアダプター EH-62F (別売)
充電時間	約2時間20分 (本体充電ACアダプター EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命※ <sup>1</sup>	
静止画撮影時	約270コマ (EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ※ <sup>2</sup>	約50分 (EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約113.0×66.5×39.9 mm (突起部除く)
質量	約299 g (電池、メモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃~40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

• 仕様データは、CIPA (カメラ映像機器工業会) の規格またはガイドラインに準拠しています。

※1 電池寿命は、SnapBridgeを使用していないときの値です。また、使用温度、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。[動画設定] が  [1080/30p] または  [1080/25p] の場合は、最長約26分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。



## Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約32×43.8×7.9 mm
質量	約22.5 g

## 本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12-18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×54 mm
質量	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、≡ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

- ・ 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・ 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## 使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- ・ UHS-Iに対応しています。
- ・ 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。[動画設定]が $\frac{2160}{60}$  [2160/30p] (4K UHD) または $\frac{2160}{60}$  [2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- ・ カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- ・ メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。



## 商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone®、iPad®、iPod touch®およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社 (<http://www.aiphone.co.jp/>) のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。Android ロボットは、Googleが作成、提供しているコンテンツから複製または変更したもので、クリエイティブ・コモンズ 3.0表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンスに基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。



- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。



“Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

## AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

## FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

## MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2016 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。



# 索引

## マーク・英数

オート撮影モード	33、34
クリエイティブモード	33、50
SCENE シーンモード	33、35
A 絞り優先オートモード	33、52
S シャッター優先オートモード	33、52
ショートムービーショーモード	33、95
P プログラムオートモード	33、52
M マニュアル露出モード	33、52
再生モード	20、75
撮影日一覧モード	78
(クイックバックズーム) ボタン	66
Q 拡大表示	20、76
W 広角ズーム	18、65
サムネイル表示	20、77
T 望遠ズーム	18、65
決定ボタン	3、14
再生ボタン	3、20
削除ボタン	3、21、80
(★ 動画撮影) ボタン	3、19、88
フラッシュポップアップレバー	3、19、57
MENU メニューボタン	3、112
セルフタイマー	56、60
マクロモード	56、61
フラッシュモード	56、57
クリエイティブスライダー	56、62
露出補正	56、64
N マーク	25
1 コマ表示	6、20、76、77
Active D- ライティング	56、62
AC アダプター	102、180
AF エリア	18、40、67、126
AF エリア選択	115、126、134
AF 表示	4、18
AF 補助光	117、151

AF モード	115、129、135
Bluetooth	117、143
D- ライティング	82、116
HDMI マイクロ端子	102、103
HDR	39
HS 動画	131、133
ISO 感度設定	115、125
Li-ion リチャージャブルバッテリー	10、11、163、184
Micro-USB 端子	11、104、108
M モード露出反映表示	115、129
N マーク (NFC アンテナ部)	2、25
Nikon Transfer 2	110
PictBridge	102、104
SD メモリーカード	10、165、184
SnapBridge アプリ	24
USB ケーブル	11、102、104、108
ViewNX-i	102、108
Wi-Fi	117、143

## ア

赤目軽減自動発光	58、59
赤目軽減発光	58、59
赤目補正	83、116
アクティブ D- ライティング	56、62
鮮やかさ	46、56、62
アプリ	24
位置情報	117、156
色合い	38、56、62、120
打ち上げ花火	35、38
笑顔自動シャッター	49
オートパワーオフ	19、117、152
オートフォーカス	69、115、129、135
オートフォーカスモード	115、129、135
おまかせシーン	33、36
音量	98



## カ

カードの初期化.....	117、153
顔認識.....	42、68
顔認識オート.....	115、126、134
拡大表示.....	20、76
拡張子.....	179
画質.....	115、118
風切り音低減.....	116、137
画像回転.....	116、140
画像コピー.....	116、141
画像コメント.....	117、154
画像サイズ.....	115、119
画像選択画面の操作方法.....	114
画像の編集.....	81
画像モニター.....	4、13、166
画面の明るさ.....	117、147
カレンダー表示.....	77
かんたんパノラマ  .....	35、43
簡単レタッチ.....	82、116
機内モード.....	116、143
逆光  .....	35、39
強制発光.....	58
記録可能コマ数.....	17、118
記録可能時間.....	88、89
クイックエフェクト.....	20、81
クイックバックズームボタン.....	66
組み合わせて使えない機能.....	73
クリエイティブスライダー.....	56、62
クリエイティブモード.....	33、50
グループ画像.....	21、79
グループ表示設定.....	116、142
クローズアップ  .....	35、38
警告メッセージ.....	167
言語 /Language.....	117、153
格子線.....	148
高速連写.....	123
コマンドダイヤル.....	2、52

## サ

再生.....	20、75、88
再生メニュー.....	112、116
再生モード.....	20、75

先取り撮影.....	123、124
削除.....	21、80
撮影.....	17、32、88
撮影時画像送信.....	117、143
撮影者入力.....	155
撮影日一覧モード.....	78
撮影メニュー.....	112、115、118、120
撮影モード.....	33
撮影モードダイヤル.....	17、33
サマータイム.....	15、146
サムネイル表示.....	20、77
シーンモード.....	33、35
識別子.....	179
時差.....	145
自動発光.....	58
自撮りタイマー.....	60
絞り値.....	52
絞り優先オートモード.....	52
シャッター音.....	152
シャッタースピード.....	52、55
シャッターボタン.....	2、18、67
シャッター優先オートモード.....	52
充電器.....	180
充電時間.....	11、157、183
充電式バッテリー.....	10、11、163、184
充電ランプ.....	3、11
ショートムービーショーモード.....	33、95
常時 AF.....	129、135
焦点距離.....	181
初期化.....	10、117、153
シングル AF.....	129、135
スーパーラプス動画  .....	35、94
ズーム.....	18、65
ズームレバー.....	18、65
ストラップ取り付け部.....	9
スペシャルエフェクト.....	96
スポーツ  .....	35、36
スマートフォンから取得.....	156
スマートフォンと接続.....	25、116、143
スマートフォンと同期.....	145



スモールピクチャー	85、116	動画編集	99
スライドショー	116、139	動画メニュー	115、130
スローシンクロ	58	動画枠	148
スローモーション動画	131、133	トワイライト 	35
静止画手ブレ補正	117、150	トリミング	76、86
静止画の切り出し	98、100		
設定音	152	<b>ナ</b>	
設定クリアー	117、158	内蔵メモリー	10
設定の初期化	117、143	内蔵メモリーの初期化	117、153
セットアップメニュー	117、145	内蔵メモリー表示	4、6、17
セルフカラージュ	47	夏時間	15、146
セルフタイマー	56、60	日時の設定	14、117、145
セルフタイマーランプ	60	認証マークの表示	117、158
操作音	117、152		
送信画像の指定	116、138	<b>ハ</b>	
測光方式	115、122	バージョン情報	117、158
		パーティー 	35、37
<b>タ</b>		パソコン	102、108
ターゲット追尾	127、128	パソコン接続充電	117、157
ターゲットファインド AF	67、127	パノラマ写真	35、43
ダイナミックファインズーム	65	早送り動画	131、133
タイムゾーン	15、145	半押し	18、67
タイムラプス動画 	35、92	ビーチ 	35
ダイレクトプリント	102、104	比較明合成 	35、41
端子カバー	2、11、102	ヒストグラム	62、64
単写	115、123	日付写し込み	117、149
地域と日時	14、117、145	日付のプリント	117、149
著作権情報	117、155	美肌	42、46、83
通常発光	58	美肌機能	42、46、83
通信メニュー	112、143	ピント	18、67、129、135
手ブレ補正	115、117、136、150	ファイル名	179
テレビ	102、103	風景 	35
電源	14	フォーカスロック撮影	70
電源スイッチ	2、14	フォーマット	153
電源ランプ	2、19	フラッシュ	19、57
電子ズーム	65、117、151	フラッシュモード	56、57
電池	10、163、183	プリセットマニュアル	121
電池残量	17	プリンター	102、104
動画切り出し	99	プリント	104、105、106
動画再生	20、88、98	フレームレート設定	116、137
動画撮影	19、88	プログラムオートモード	52
動画設定	88、115、130	プロテクト設定	116、140
動画手ブレ補正	115、136	ベストフェイス 	35、46



別売アクセサリ	180	露出補正	56、64
ペット 	35、40		
ヘルプ表示	33、147		
ポートレート 	35		
星軌跡	41、92		
ホワイトバランス	115、120		
本体充電 AC アダプター			
	11、164、184		

## マ

マクロモード	56、61
マニュアル露出モード	52
マルチセクター	3、56
無線通信機能についてのご注意	160
メイクアップ効果	83、116
目つぶり軽減	48
メモリーカード	10、165、184
メモリーカードの初期化	
	10、117、153、165
メモリー残量	17、88
メモリーの初期化	117、153
文字入力画面の操作方法	144
モニター	4、13、166
モニター設定	117、147

## ヤ

夜景 	35、37
夜景と光跡	41
夜景と星軌跡	41
夜景ポートレート 	35、37
夕焼け 	35
雪 	35
用紙設定	105、106

## ラ

リチウムイオン充電電池	
	10、11、163、184
料理 	35、38
連写	115、123
レンズ	2、166、181
ロータリーマルチセクター	3、56
露出設定	53



## 修理サービスのご案内

### ■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ・ ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- ・ 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- ・ カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

### ■インターネットでのお申込み

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

### ■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

**0570-02-8200**

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- ・ 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ・ ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

### ■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<http://www.nikon-image.com/support/repair/receipt/pickup/>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

**0120-02-8155**

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いします。



## 補修性能部品と修理可能期間について

補修性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

## ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

**0570-02-8080**



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

**0570-02-8060**

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLをご覧ください。

<http://www.nikon-image.com/support/showroom/>



<http://www.nikon-image.com/support/contact/>



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

**0570-02-8000**

営業時間：9：30～18：00（年未年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

#### お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

#### ニコンイメージングサポートページのご案内

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**